

創立 75 周年記念誌

1948 → 2023



公益社団法人

神奈川県鍼灸師会

目 次

第1章 創立75周年によせて ～役員のことば～	
ご挨拶	2
役員のことば	3
第2章 創立75周年記念式典 表彰受章者	
創立75周年記念式典 表彰受賞者	9
75周年記念式典の思い出	11
第3章 75年のあゆみ	
45年のあゆみ（45周年記念誌より再掲）	15
60年のあゆみ（60周年記念誌より再掲）	17
この15年間のあゆみ	19
特別企画 この15年を振り返って ～Zoomインタビュー～	20
歴代の会長	32
歴代の役員と部	34
15年間の出来事（2009-2023）	
2009年度～2011年度	38
2012年度	40
2013年度	42
2014年度	44
2015年度	46
2016年度	48
2017年度	50
2018年度	52
2019年度	54
2020年度	56
2021年度	58
2022年度	60
第4章 この先15年の未来へ ～会員アンケート～	
会員アンケート結果	62

ご挨拶

公益社団法人 神奈川県鍼灸師会
会長 清水 慎司

神奈川県鍼灸師会の創立から75年の月日が経ちました。あらためてその歴史を顧みますと、発足時には同業者の説得や「会則」「定款」の作成など、種々にわたり相当なご苦勞があったと推察されます。先達により築き繋がれ、今日この日を迎えられたことに、関係するすべての皆さまに感謝を申し上げます。



はじめに、70周年の記念事業をおこなわずに75周年を迎えてしまったこと、会長としてお詫びいたします。その年は、日本鍼灸師会の『全国大会』を急遽神奈川の地で開催することとなり、加えて同年に『関東ブロック会議』もおこなうなど慌しい一年であったため失念をしてしまいました。おかげさまで『全国大会』、『関東ブロック会議』とも成功裏に終えることができました。これも、会員の皆さまのご協力の賜物です。心より感謝しています。

神奈川県鍼灸師会はこの十数年の間に、横浜の馬車道に事務所を自前で持つことができました。それまでは、歴代会長に自宅の一部を開放していただき、そこを事務所として運営をしてきました。つまり、事務所を作れる環境でないと会長の任を受けられない状況でしたが、それでは会の運営に支障があるということで、現在の場所を探し事務所を設けることとなりました。

事業活動としては、『横浜マラソン』をはじめ県内のマラソン大会でボランティア活動をおこなうようになりました。横浜市でおこなわれた一般向けの「ツボ相談」では多くの希望者に対応しました。また、国民健康保険連合会の保険審査にも関わってまいりました。「この指とまれ」という会員による勉強会も開催しています。現在は、「古典研究会」と「問診力セミナー」をおこなっています。

さらに、神奈川県鍼灸マッサージ師会および日本あん摩マッサージ指圧師会との推進協議会を作り、業界としての要望を、知事をはじめ行政や県会議員に依頼をおこなっています。しかし、まだまだ鍼灸やマッサージの業の置かれている立場は医療や介護の現場では弱いというのが現状です。組織力の弱さが一因でもあります。マスコミでの評価は数十年前からみると各段に良くなり、テレビ放送でも「ツボ」や「お灸」の話題を散見するようになりました。しかし、いざ医療の現場になると未だに医療者に溶け込めていないと感じています。介護をはじめ各市町村の各審議委員にもほとんど声はかかりません。医療としての認知はまだまだです。

現在経済産業省は、健康経営を企業に求めています。これから日本は、超高齢化により労働者の減少が進みます。元気で活力を持って永く働く人材の確保は急務です。古来鍼灸には「未病」という言葉があり、元気で活力ある人づくりは私たちの真骨頂です。これを進めていければと考えています。

今後、日本の社会において鍼灸の真価が問われ、鍼灸が重要な役割を担っていくことを願います。

創立 75 周年によせて 役員のことば

副会長（法人管理統括・総務部長） 草山 真紀夫

75 年前を想像してみました。1948 年、昭和 23 年です。美空ひばりが歌手デビューし、東京裁判がありました。まだ戦争の爪痕が癒えてはいないそんな時代に、神奈川県鍼灸師会は生まれました。今日まで神奈川県鍼灸師会が活動してこられたのは、歴代会長・歴代役員皆さまの努力があったからだと思います。



最近、人工頭脳（AI）であるチャット GPT なるものが現れ、さまざまな質問に的確に答えを出してくれます。また、この AI によって、将来無くなる職業も噂されています。AI は進化して「シンギュラリティが起こる」、つまり AI が人間を超えるときが来るといわれています。一方、AI の能力はあくまで人間のためにあるとして、人工知能と人間を同一視する考え方を否定している研究者もいます。

時代が変わっても私たち鍼灸師は、「人間が人間として患者に寄り添い、症状を伺い、受容、承認、共感をして手当をする」、人が人を労り癒すことは鍼灸師が得意とするところだと思えます。

神奈川県鍼灸師会は 75 年間、鍼灸師のために、県民のためにと考え活動させていただきました。これからも、必要とされる組織としてあり続けたいと思えます。

75 周年おめでとうございます。

副会長（共益事業統括・学術部アドバイザー） 藤田 洋輔

公益社団法人神奈川県鍼灸師会が創立 75 周年のこの日を迎えられること、ひとえに会員、役員の方の諸先輩方のご尽力の賜物と存じております。深く感謝を申し上げます。

神奈川の地は地域に根差した医療が発展し、鍼灸医療も含め患者さんとの距離を近くし医療貢献がなされてきたと存じております。今後も本会の仲間とともに、県内の医療者や対人援助職の皆さんと協調し、地域社会に貢献して参りたいと存じます。



県民の皆さま、会員の皆さまのますますのご健勝、神奈川県鍼灸師会の更なる社会への貢献を祈念し、創立 75 周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

副会長（公益事業統括・学術部長） 大屋 朗

公益社団法人神奈川県鍼灸師会 75 周年を心よりお祝い申し上げます。同時に、これまでご尽力されてきた諸先輩方、会を支えていただいたすべての皆さまに感謝申し上げます。

近年の我々鍼灸業界を取り巻く環境は大きく変化してきています。今後さらに少子高齢化が進み、業界の変化が見込まれるなかで我々職能団体にできることは何か、会員の皆さまとともに新たな当会を築いていけることを願っております。

最後になりますが、神奈川県鍼灸師会の益々の発展と、会員の皆さまの繁栄を祈念して、お祝いの言葉とさせていただきます。



業務執行理事（保険統括・財務部長・普及副部長） 清水 克紀

公益社団法人神奈川県鍼灸師会の創立 75 周年、心よりお祝い申し上げます。節目の今日を迎えられましたのもひとえに会員、役員の諸先輩方のご尽力の賜物かと存じます。この場を借りて深く感謝を申し上げます。

鍼灸治療を取り巻く現状は厳しい部分もありますが、試行錯誤しながらも前に進んでいると感じます。今後も本会の仲間とともに、鍼灸業の発展の一助となれるよう努力してまいります。県民の皆さま、会員の皆さまの益々のご健勝を祈念し、創立 75 周年のお祝いの言葉とさせていただきます。



理事（普及部長・保険部員） 秋澤 泰久

この度は、神奈川県鍼灸師会の創立 75 周年にあたり、心よりお祝い申し上げます。私は当記念誌を作成するメンバーの任を賜り、以前に役員運営をされていた方々のお話を聞く機会がありましたが、お話をうかがうだけでも各時代の諸先達のご尽力のうえにあることを知り、感謝に堪えません。



現会員の皆さまが入会してくださり、“鍼灸業団体”となっているからこそ社会的認知および貢献、療養費含む政策への取り組みが可能になっています。つまりは皆さまの存在こそが今の鍼灸業の歴史になっているのだと感じております。

今後も業界全体はもとより、皆さまの益々のご隆盛を願い、お祝いの言葉とさせていただきます

理事（広報部長） 高橋 宏

公益社団法人神奈川県鍼灸師会創立 75 周年にあたり、心よりお祝いを申し上げます。

現在、各組織を構成する部員・委員、そして各役員が神鍼会の活動・運営をおこなわせていただいておりますが、これもひとえに、各々その時々において会務に関わってこられた方々が、期間の長短はあれ 75 年にわたりバトンをつなぎ続けていただいたからこそであり、また何より会員の方々が神鍼会活動とともにあったからです。ここにあらためて感謝をお伝えいたします。



次なる記念周年に向けては、現在の会員の皆さまはもとより、これから会員になられる学生を含めた方々に、より一層の師会活動へのご理解と共感をいただけるよう、また各活動へのご参加をいただけるよう尽力していきたいと考えております。

理事（組織共済部長・危機管理委員長） 長野 純也

今日にいたるまでの歴代会長・理事・会員諸先生方の並々ならぬご尽力により、公益社団法人神奈川県鍼灸師会が創立 75 周年を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。

危機管理という意味でも会員同士の地域ごとのまとまりは必要になりますので、今後災害対策としての地区割も検討してまいります。近年、さまざまな事情により会員数は減少傾向にあります。鍼灸師の社会的地位を上げるための行政とのあらゆる交渉のなかで、所属している会員人数は“力”となりますので、鍼灸師として団体に所属することには大きな意義があります。

75 周年記念にあたり、ご協賛・ご支援・ご協力を賜りました各関係機関、多大なご指導をいただきました関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、今後の公益社団法人神奈川県鍼灸師会の益々の発展を願っております。



理事（保険部長） 橋口 和光

この度は、公益社団法人神奈川県鍼灸師会の創立 75 周年を心よりお慶び申し上げます。思いがけず節目の年に一理事として携わることができ、身の引き締まる思いです。

諸先生方のご尽力のもとに当会が成り立ち、公益社団法人としても県民の健康づくりに寄与してきたことを今一度振り返りながら、会員の皆さまにとっても我々鍼灸師が現代に残り続けている意義を考える本年になるであろうと信じております。今後も県民の健康づくりの一助となるよう、会員の皆さまとともに歩んでいく所存です。

末筆ながら、公益社団法人神奈川県鍼灸師会の一層のご発展とご活躍をお祈りいたします。



理事（広報副部長・危機管理副委員長） 平岡 遼

神奈川県鍼灸師会が創立 75 周年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

この“75 年”は、すべての“1 年”が年々の役員のご尽力と会員の方々のご協力によって築かれてきた誇るべき数字だと思います。歴代会長や役員の方をはじめ、先達の先生方の熱意と努力は敬意の念に堪えません。

近年は、2020 年から続く新型コロナウイルスのパンデミックによって直接顔を合わせることの難しい状態が続きました。ようやく、少しずつ規制が緩和されつつあるなかで、安心・安全に考慮しながら少しずつ繋がりを増やして、“1 年”を大切に刻むことに力を尽くしていきたいと思っております。

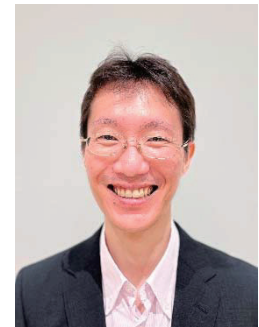


理事（総務副部長） 三田 正樹

この度は、神奈川県鍼灸師会の創立 75 周年にあたり、心よりお祝い申し上げます。歴代の会長をはじめ、役員・理事・会員の諸先生方の多大なるご尽力により今日を迎えられたことを深く感謝申し上げます。

入会させていただいてから、多くの先生方と接することができ、あらためて学ぶことの多さに気付くとともに、会務活動を通してさまざまな貴重な経験をさせていただきました。これからも、鍼灸の素晴らしさをより多くの方々に還元していきたいと思っております。

神奈川県鍼灸師会の今後益々の発展を祈念いたします。



監事 窪田 勤

公益社団法人神奈川県鍼灸師会創立 75 周年を迎え、歴代会長・役員・会員の先生方、支えてくれた多くの関係する方々のご尽力に対して感謝申し上げるとともに、心からお祝い申し上げます。

私ごとですが、思えば 13 年前に正会員となり、学術部・普及部・組織共済部とお手伝いさせていただき、さらに副会長の大役まで仰せつかり、忙しいなかにも充実した時間を皆さまと体験させていただいたことは感謝、感謝です。さて、我々を取り巻く環境は依然として厳しいものです。コロナ禍を皆さまの努力で乗り切ってきましたが、大地震、温暖化による未曾有の風水害、生活が便利になった代償として我々が持っている自然治癒力の低下など、医学の進歩と並行して、鍼灸の活躍する場はまだまだまだたくさんあると思うのです。この会が永久に続くよう願うとともに、今後も鍼灸の普及に参加できればと考えております。



監事 日野 博

公益社団法人神奈川県鍼灸師会が創立 75 周年を迎えられましたことに、心よりお祝いを申し上げます。

歴代の会長はじめ役員・会員の諸先生方のご尽力によりこの日を迎えられたことと感謝申し上げます。

これから先どんな時代になりましても、これまで築き上げてきた神奈川県鍼灸師会の信用と実績が若い理事に引き継がれていき、さらなる発展となりますことを期待しております。



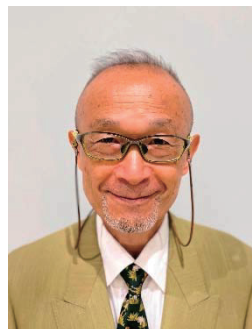
監事 森下 元

歴代の会長・役員・会員の方々の懐かしいお顔が浮かんできます。

諸先輩のさまざまなお導きをありがたく思い出します。

これからもこのようにして周年行事が積み重なっていくこと
でしょう。

鍼灸よ永遠（とわ）に



創立75周年 表彰受章者

本会に多大な貢献をされた先生方を表彰し、ここに掲載いたします。誌面の都合上、敬称を省略させていただきます。

永年会員 (127名)

10年以上にわたり神奈川県鍼灸師会の会員でいらした先生

※ () 内は会員在籍年数

紫色 永年会員 および 名誉会員 : 会員期間 50年以上は名誉会員となります

金子 宗明 (51年)

紺色 永年会員 : 会員期間 45～49年 (5名)

佐藤 高一郎 (49年) 天野 まち子 (47年) 石川 家明 (47年)
松本 リラ子 (47年) 沼上 一夫 (47年)

青色 永年会員 : 会員期間 40～44年 (4名)

荒井 文子 (44年) 浜村 明 (43年) 北野 亮介 (43年)
佐藤 通泰 (43年)

赤色 永年会員 : 会員期間 35～39年 (8名)

深沢 忠雄 (39年) 小笠原 政幸 (39年) 青木 哲五朗 (39年)
小金 照雄 (38年) 駒形 泰亮 (37年) 日野 博 (37年)
七尾 充子 (36年) 松原 次良 (36年)

橙色 永年会員 : 会員期間 30～34年 (14名)

秋沢 三千代 (34年) 茶鍋 浩 (34年) 森下 元 (34年)
清水 慎司 (34年) 加藤 篤徳 (33年) 嶋本 守 (33年)
金子 朝彦 (33年) 佐久間 布紀子 (32年) 喜多見 俊子 (31年)
武井 創 (31年) 中村 忠 (30年) 今高 美奈子 (30年)
鳥谷部 創治 (30年) 金成 篤樹 (30年)

緑色 永年会員 : 会員期間 20～29年 (30名)

市川 正宏 (29年) 田村 達美 (29年) 吉岡 了泰 (28年)
柴田 幸昌 (28年) 瀧山 博行 (28年) 森谷 恵子 (28年)
村山 哲郎 (28年) 米山 章子 (27年) 片岡 明美 (27年)
トーマス・ブラーゼイエ・ヴィッツ (26年) 佐藤 常雄 (26年)
三澤 透 (26年) 田口 幸江 (25年) 村田 玲一 (25年)
吉田 志郎 (23年) 笠井 砂織 (23年) 五十嵐 惣一 (22年)
柳原 功典 (22年) 小宮 猛史 (22年) 田澤 政博 (22年)
川鍋 廣 (21年) 奥野 雅己 (21年) 北村 恵子 (21年)
山城 潤司 (21年) 斉藤 俊司 (21年) 山下 耕司 (20年)
石井 恵子 (20年) 佐野 聖 (20年) 三好 寛朗 (20年)
飯田 千弓 (20年)

黄色 永年会員 : 会員期間 10～19年 (65名)

三上 八重子 (19年) 中川 育子 (19年) 浅田 美子 (18年)

第2章 創立75周年記念式典 表彰受章者

小井土 善彦 (18年)	岩下 秀明 (18年)	間壁 みみ (18年)
永島 達矢 (18年)	金城 充知 (18年)	岡田 善信 (17年)
小林 豊 (17年)	鈴木 晶子 (17年)	鈴木 清 (17年)
銚立 浩 (17年)	村上 薫 (17年)	崎間 スガ子 (17年)
高良 太 (17年)	杉山 利夫 (16年)	石田 不二夫 (16年)
鈴木 敏之 (16年)	谷田貝 肇 (16年)	杉山 拓人 (16年)
鈴木 康博 (16年)	伊藤 愛主 (16年)	戸崎 綾子 (16年)
中田 智之 (16年)	須山 純子 (16年)	吉田 茂一 (15年)
吉川 健二 (15年)	鷺田 伸二 (15年)	澁谷 美保子 (15年)
徐 大真 (15年)	平岡 辰夫 (15年)	喜島 顕 (15年)
関 昌勝 (15年)	黒岩 正明 (15年)	鈴木 幸子 (14年)
本多 晴美 (14年)	山本 エリ (14年)	小高 靖 (13年)
星 いつ子 (13年)	大槻 和正 (13年)	徐 大恒 (13年)
石田 智子 (13年)	平林 勲 (13年)	前川 映子 (13年)
石田 伸 (13年)	小島 明政 (13年)	金子 太也 (12年)
長野 純也 (12年)	佐藤 宏喜 (12年)	窪田 勤 (12年)
新井 洋崇 (12年)	伊藤 弘隆 (12年)	稲野 知久 (12年)
江波戸 雄一 (11年)	柴崎 美佳 (11年)	坂田 和民 (11年)
佐竹 泰子 (11年)	田澤 慶子 (11年)	宮川 力 (11年)
出納 みどり (11年)	草山 真紀夫 (10年)	和田 勉 (10年)
小宮 宏一 (10年)	山科 やす恵 (10年)	

役員表彰 (11名)

60周年行事以降、本会の役員を5年以上務め、本会の発展に大きく寄与された先生

※ () 内は役員在任年数

日野 博 (13年)	清水 慎司 (11年)	喜多見 俊子 (6年)
森下 元 (9年)	吉田 志郎 (8年)	藤田 洋輔 (7年)
石田 不二夫 (6年)	林 邦昭 (5年)	草山 真紀夫 (5年)
清水 克紀 (5年)	長野 純也 (5年)	

特別表彰 (5名)

本会に多大な貢献をいただいた先生

栗田 康男
 神山 靖雄
 岩泉 瑠璃子
 伊藤 昌芳
 松本 弘巳

75周年記念式典の思い出

日時：2023年9月3日（日） 17時～19時

会場：四五六菜館別館 3階



<式次第>

16:30 受付開始

17:00 開会の辞

17:02 会長挨拶

17:07 物故者追悼黙禱

17:08 乾杯

17:20 表彰(代表)

名誉会員表彰（1名）

永年会員表彰（126名）特別会員表彰（4名）

役員表彰（11名）

17:55 受賞者挨拶

永年会員 天野まち子先生 深沢忠雄先生 秋沢三千代先生 瀧山博行先生
間壁みみ先生

特別表彰 栗田康男先生

役員表彰 日野博先生

18:50 閉会の辞



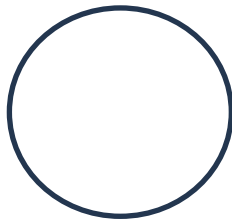
←会場入口からの風景



<出席者と座席>
(敬称略)

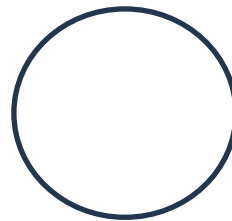
司会

天野 まち子
駒形 泰亮
松原 次良
森下 元
加藤 篤徳



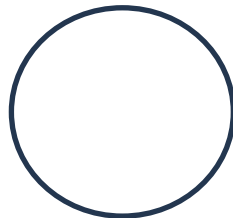
深沢 忠雄
日野 博
秋沢 三千代
清水 慎司
金子 朝彦

中村 忠
森谷 恵子
吉田 志郎
間壁 みみ
石田 不二夫



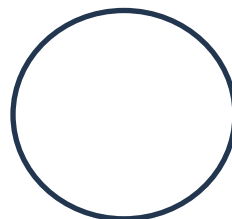
瀧山 博行
トマス・ブラゼン・エイ・グイツ
笠井 砂織
岡田 善信
星 いつ子

高橋 宏
妹尾 博彦
北原 奈那
美山 健三郎



秋澤 泰久
平岡 遼
橋口 知光
神山 美世子

石田 智子
長野 純也
柴崎 美佳
藤田 洋輔
栗田 康男



金子 太也
窪田 勤
草山 真紀夫
清水 克紀
三田 正樹



←会長挨拶



↑名誉会員表彰



←名誉会員の金子宗明先生の代理で出席
されたご子息の金子太也先生



←特別表彰の栗田康男先生のご挨拶



長年一緒に役員を務めている日野博監事（写真右）に表彰状を読み上げる清水慎司会長（写真左）→



←75周年実行委員長の草山真紀夫副会長と清水慎司会長の式典直後の一枚

45年のあゆみ

45周年準備実行委員長 松本 弘巳

社団法人神奈川県鍼灸師会（神鋪会）の歴史は霧に包まれた部分が多い。そこで会報や先輩の思い出を頼りにまとめてみました。

第二次世界大戦後の昭和22年6月20日、戦後はじめての全国団体である日本鍼灸マッサージ連盟が創立された。おりしも同年9月23日、占領軍司令官ダグラス・マッカーサーにより鍼灸の禁止を要請されるというGHQ(General Headquarters 軍事・総司令部)旋風がおこり、鍼灸の危急存亡に直面した。その3ヵ月後に「禁止せず」との報に接したのではあるが、これは戦争中アメリカの捕虜を日本軍が治療行為と偽り、施灸し火傷せしめた“傷害行為”という判断に対するものであった。これに対して業界や学識経験者を総動員して対応したと聞いている。

昭和22年12月20日、はり師・きゅう師等に関する法律（法律第217号）や法律施行令が制定されたが、これに基づいて社団法人神奈川県鍼灸医学会は鍼灸師再教育講習会をおこなっている。

第1回目は昭和23年10月から24年7月までに102時間

第2回目は昭和24年10月から25年7月までに158時間

すでに昭和23年には鈴木国彰氏により、社団法人神奈川県鍼灸医学会（神奈川県鍼灸師会へ改称する前の会名）が結成登記された。日本鍼灸師会が昭和25年11月30日に発足し、翌26年5月10日に厚生大臣から社団法人日本鍼灸師会設立許可が下ったそれよりも約3年早く設立している。神奈川県鍼灸師会発行の月報・創刊号（昭和25年9月8日）の「発刊に当りて」という鈴木田彰氏の文章を若干引用すると次のようである。

「昭和23年・神奈川県鍼灸医学会が創立され、同年、社団法人となり、更に昭和25年・社団法人神奈川県鍼灸師会と改称し、会員相互の唯一なる研究機関となり今日に至りたるは誠に同慶の極みであります。

我が業界は、今後共に幾多の苦境を突破して悲願に達するの感を深くする。然し成さねば成らぬのである以上、成さねばならぬ責任を感ずるは一人私のみならずして、皆様も御同感の事と信じております……」

まさに生みの苦しみと共に「やるぞ」という気迫を感ぜずにはいられない。

この創刊号には会員名簿が付いていて、55名の氏名・住所が書かれている。その中には鈴木康王現会長の御父君である鈴木国彰氏はもとより、現在の医道の日本社・主幹・戸部宗一郎氏、45周年記念大会・世話役の沼上一夫氏の御父君である沼上茂一氏、さらに吉沢勇氏の名前が連なり、また、野島豊平氏、奈良久夫氏、飯島チヨ氏の名前も見られる。いずれも社団法人神奈川県鍼灸師会の創立以来ご活躍された方々である。しかし、残念なことに初代会長 鈴木国彰氏は昭和45年1月11日、心筋梗塞で突然他界された。

社団法人神奈川県鍼灸師会の事業として先に挙げた鍼灸師再教育講習会や月報の刊行は判明したが、

その後、初代会長が亡くなる前後の空白を埋めることができない。

続いて、昭和48年に全く別な形で新しい神奈川県鍼灸師会が結成された。この間のいきさつについては佐藤憲三氏の「社団法人神奈川県鍼灸師会の経過」にみる通りである。(旧)社団法人神奈川県鍼灸師会会員2名の推薦で山田醇一郎、佐藤憲三両氏が入会し、次いでこの二人の推薦で、現在活躍している金子宗明、沢井勝三、鈴木信夫、沼上一夫、松本弘巳らが入会するという形で社団法人神奈川県鍼灸師会を復活登記したのである。

従って歴代会長名を挙げると初代会長は故鈴木国彰氏、二代目は山田醇一郎氏、三代目は故福岡仁司氏、四代目は現鈴木康王氏ということになる。

社団法人神奈川県鍼灸師会は第四代会長にいたり、初代会長の意思を継いで本格的な活動が始まった。もちろんその間、たくさんの事業がおこなわれた。かくいう理由は、神奈川県にはもう一つの業団があり、神鍼会がその陰にならざるをえない大きな理由があったのである。ようやくそこから脱し、神鍼会としての本来の事業を開始したのである。

植松治義氏の「1948年創立当初の頃」にある通り、全く政治色なく進められた本会もいよいよ盛り上がりを見せている。本誌の年表(大西雅士氏担当)や各部の事業・活動をみると一目瞭然である。

伝統ある社団法人神奈川県鍼灸師会の今後の発展を願うとともに、未だ明らかにされない神鍼会の歴史のなかで静かに、しかし情熱をもって会を育ててくれた先輩の方々の業横を掘り起こしていく作業が残されている。

60年のあゆみ

創立60周年記念式典実行委員長 高橋 賢

■第4代 鈴木康王会長期

平成4年 鈴木康王会長就任後、師会事務所が初めて設立され、会議・事務を行う場所が確保され、パソコンやコピー機などの事務設備が整った時点で、本会は、近代的態勢をようやく達成した。それまでは、言わば手作りの家内工業的な運営であった。それでも、定期的に学術講習会を開き、会報を発行するなどの諸事業をしていたのであるから、会長・理事役員の皆さまのご苦勞はもちろん、そのご夫人・ご家族方のご苦勞は並々ならぬものであった。

昭和63年の「あはき法」の一部改正により、平成5年に免許・試験が厚生大臣に移管された。平成2年には法改正を受け国家試験を民間委託とし、免許事務もおこなう「東洋療法研修試験財団」が設立された。平成5年より財団による統一試験が全国都道府県で実施された。

法律に基づき、本会では、平成4年9月13日より厚生大臣指定講習会を開始した。

平成6年、保険運営委員会を設立し、保険業務運営の円滑化を図った。

平成5年、師会創立45周年記念大会、平成6年、関東ブロック協議会神奈川大会、平成9年、第5回関東ブロック臨床学術大会、平成10年、師会創立50周年記念大会、平成11年、日鍼会青年部集会 in 神奈川の開催、平成13年、関東ブロック会議神奈川大会がこの期の大きい開催行事で、理事役員をはじめ会員多数の協力によりこれを達成できた。

会員親睦・福利厚生事業として、水戸偕楽園の梅見を兼ねた筑波技術短期大学見学、熱海温泉一泊旅行、屋形船の納涼会などがおこなわれたが、会員家族の親睦を深めた楽しい思い出である。

■第5代 伊藤昌芳会長期

平成14年定期総会の役員改選により、伊藤昌芳氏が第5代会長に就任した。伊藤会長の目指すところは、「よりきめ細かく、より広い気配りの行き届いた会務運営」である。

平成14年5月に始まる学術部主催鍼灸臨床ナイトは、休日の日中に参加できない会員のために平日の夜間に開催したもので、松本弘巳先生などベテランの講師による臨床に即役立つ講演がおこなわれた。

平成15年3月には、組織学術両部共催の経営法のナイトセミナーも開催された。

平成14年6月、KAMカムを創刊した。会報発行の合間に、最新の情報を伝達する目的である。

平成14年7月、新入会員に要望の多い保険説明会を、保険部主催で開催。同日の夜間にも第1回KAMカム塾と題して保険説明会も開催し、便宜を図った。夜間開催のKAMカム塾は以降も治療院見学会として開催し、後には青年部の主催の治療院見学会として継続される。

平成14年12月より、関東労災病院整形外科カンファレンスに高瀬・日野・三原・小野寺の四先生が参加した。医師病院と本会の連携事業の一環である。

平成15年9月、保険部主催で、介護保険の成立に対応した介護保険説明会を開催した。

平成15年10月、組織部主催で、新入会員オリエンテーションを開き以降定期的に開催、新入会員を受け入れその指導をおこない、会員としての定着を図っている。

平成15年11月、一般市民に鍼灸の効用を普及広報する目的で、第一回はり・きゅう市民フォーラムを

第3章 75年のあゆみ

横浜で開催した。以降、海老名・平塚・相模原と順次開催し、平成19年までに5回を数え、毎回多くの入場者を集め好評を博した。

平成15年12月、日本医師会主催の感染性廃棄物処理推進者養成講座を清水・日野の両先生が受講。

平成16年、事務所を、伊藤会長邸の一角を占める川崎区鋼管通り3-11 3の新事務所に移転。

平成16年12月、スポーツ鍼灸セラピー神奈川との合同講習会を開催。

平成16年12月、新潟中越大地震義援金活動に協力。

平成17年1月、組織部主催・学術部共催の経営セミナーを開催。以降、毎年開催に定着した。

平成17年6月、神奈川県知事シンポジウムに3名出席、行政との連絡を欠かさぬように図る。

平成17年12月、共済部により、本会全会員に賠償保険強制加入制度を実施することとなる。

平成18年8月、組織部・広報部共催、(株)総合警備保障の協力で、AED導入の説明会を開催。

平成19年2月より、組織部と、学術部・保険部・青年部協力のもと、県内鍼灸学校に神奈川県鍼灸師会の存在をアピールする説明会を順次開催した。以降、毎年開催。

平成19年4月、広報普及のため、喜多見先生担当で、当会ホームページをリニューアルする。

平成19年10月より、学術部・青年部共催、石川ゼミ協力のもと、10回シリーズの鍼灸臨床講座を開催した。好評を博し、以降も題目を変えて2シリーズを継続し開催している。

平成20年8月、理事役員・会員協力のもと、関東ブロック会議神奈川大会を開催。

現在、理事役員全員がメーリングリストに登録されている。それにより、師会業務の運営は、敏速で正確な情報交換が可能となり、多大な業務の進展をみている。

伊藤会長が就任の際には200名弱の会員数であったが、会長はじめ理事役員の上述の地道な努力の賜により、現在は250名を超える勢いにある。

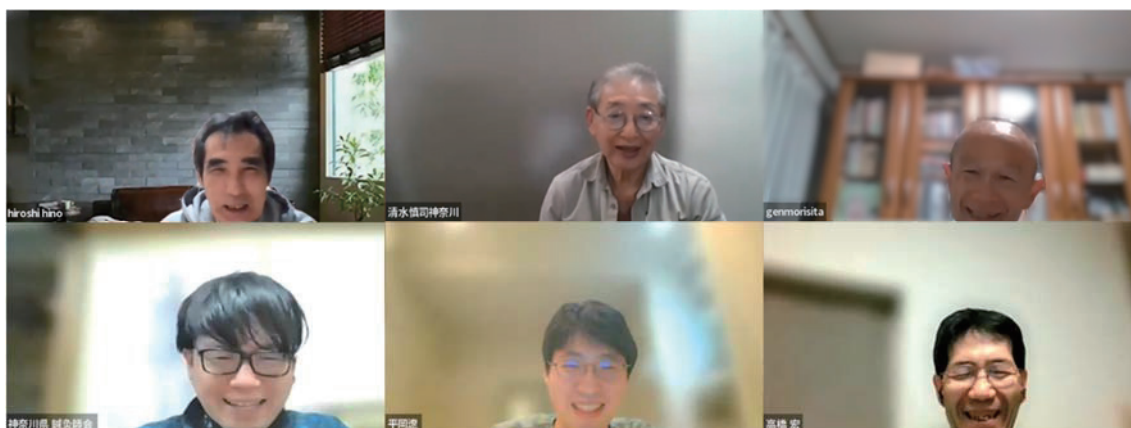
この15年間のあゆみ

- 2012年度（平成24年度）
 - ・「組織部」と「共済部」が「組織共済部」に統合
- 2013年度（平成25年度）
 - ・2013年4月1日 公益社団法人に移行し、「公益社団法人神奈川県鍼灸師会」が発足
 - ・2013年4月1日 名称変更による旧法人の解散登記および新法人の設立登録
 - ・2013年6月5日 馬車道に事務所を購入
 - ・「GKカード」学術講習会の単位管理システムを導入
- 2014年度（平成26年度）
 - ・第6代会長 清水慎司 就任
 - ・「広報部」と「普及部」が「広報普及部」に統合
 - ・平成26年11月30日 はりきゅう市民健康講座 in 橋本の開催@サンエール相模原
 - ・平成27年2月11日 セイリン工場見学
 - ・平成27年3月15日 横浜マラソン2015に鍼灸マッサージボランティア初参加
- 2015年度（平成27年度）
 - ・平成27年10月31日～11月1日 第11回公益社団法人日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川@パシフィコ横浜
 - ・同日、公益社団法人日本鍼灸師会創立65周年記念式典および記念祝賀会を同時開催@マリンルージュ号
- 2016年度（平成28年度）
 - ・これまで広報普及部がおこなっていたホームページ運営をおこなう「IT委員会」を新たに設置
 - ・平成28年6月5日 東京都鍼灸師会共催 地域医療連携講座「診察学シリーズ」を開催 @慶応義塾大学信濃町キャンパス
 - ・平成28年10月23日 第1回災害鍼灸医療支援研修会 @神奈川県地域労働文化会館
- 2018年度（平成30年度）
 - ・第7代会長 服部政博 就任
- 2020年度（令和2年度）
 - ・第8代会長 清水慎司 就任
 - ・災害時の対応や災害関連の講習をおこなう「危機管理委員会」を新たに設置
 - ・学生会員の入会管理や、学校とのやりとりをおこなう「学生委員会」を新たに設置
 - ・2020年3月11日 WHOが新型コロナウイルス感染症の世界的大流行（パンデミック）を表明
 - ・コロナパンデミックの影響により多くの講習会および会議等を休止、Web開催を模索
 - ・2020年度より「学生委員会」を設立
 - ・2021年3月24日 神奈川県とかながわ鍼灸マッサージ推進協議会が災害協定を締結
- 2021年度（令和3年度）
 - ・オンライン会議ツールを用いて、当会で初めて忘年会や市民講座をWeb開催

特別企画 この15年を振り返って ～Zoomインタビュー～

インタビュアー・編集：平岡 遼

60周年からの15年を振り返るにあたり、この15年間に神鍼会会員として、さらには役員としても見続けてきた御三方である、清水慎司会長・日野博監事・森下元監事をお呼びしてお話をうかがいました。御三方は、永年会員として表彰受賞者の項にも掲載されていますが、それぞれ34年・37年・34年もの間、神鍼会会員として所属され、同時に理事・監事も務められています。インタビューをとおして、編集委員も知らない当時の出来事を教えていただきました。当時の先生方のご苦勞やご尽力を知ること、神鍼会をより身近に感じていただき、未来に活かす糧としていただければ幸いです。



Zoomインタビューの様子

上段左から日野博監事、清水慎司会長、森下元監事

下段は記念誌編集委員（左から秋澤泰久理事、平岡遼、高橋宏理事）

平岡：本日はお集まりいただきありがとうございます。「60周年からの15年を振り返る」というテーマで、この15年にあった大きな出来事や会の変化などを、実際に経験されてきた御三方にお聞きしていきたいと思えます。若い会員は知らないこともたくさんあると思えますので、当時の想いやご苦勞など、肩の力を抜いてお答えいただければと思えます。それでは、まずこの15年を振り返って、印象深かったことや思い出される大きな出来事にはどんなものがありますか？

清水：やっぱり事務所購入が一つ大きな出来事です。あとは公益社団になったことですね。それから全国大会をやったことです。お二人はどうですか？

日野：私もその3つかなと思います。ほかに大きい出来事って、森下先生何かありますか？

森下：そうですね、私もおっしゃられたものでいいかと思います。

平岡：ありがとうございます。私たち編集委員で洗い出していた中でもやはりその3つが大きなトピックかなと感じておりました。それでは、まず公益社団法人化についてお話ししていきたいと思います。

■公益社団法人化について

平岡：はじめに、どのように公益社団法人化に至ったのかという経緯をお聞きしたいです。

清水：あれは確か、日本鍼灸師会（以下、“日鍼会”）含め全国的に、各県師会が公益社団化を始めたんですね。

日野：そうですね。我々の業界は認知度が低いから、公益社団にすることで市民のために動いているんだっていうことを表に出していこう、という感じでしたよね。

清水：要は、社会にもっと我々が認めてもらうには、公益社団法人という公的な認証を取った方が、行政も含めて印象が良くなるだろうという気持ちだったと思います。

平岡：そうすると、ほかの県師会も同じようなタイミングで公益社団法人化していったんですね

清水：神鍼会は、その中ではおそらく真ん中くらいの早さだったんじゃないのかな？

日野：移行認定期間ってというのがありまして、社団法人が公益社団法人に移行する申請期間があったんです。その期間に合わせて申請準備を、各県師会・日鍼会を含め進めていったんですけれども、我々はちょっと遅かったかもしれないですね。申請手続きそのものがどうやってやるのかわからないことだらけだったので。

編集者註：平成20年12月に施行された公益法人制度改革により、それまでの社団法人は5年間の移行期間内に、公益社団法人もしくは一般社団法人への移行の認可を申請し、内閣府または都道府県から認可を受けることで、法人格を維持したまま新制度における法人に移行できた。公益社団法人の認可を受けるためには、公益目的事業を主な事業としなければならず、運営や会計なども毎年厳しく監査される。

平岡：その時の申請手続きを準備された方はどなただったんですか？

日野：私と千葉先生です。

清水：千葉先生は生き字引ですね。

日野：千葉先生が財務関係で、私は申請書関係でした。それで、認可が下りたのが、平成24年の12月17日付ですね。この時は伊藤先生が会長で、事務所は川崎にある伊藤先生のご自宅でした。

清水：認可が下りるまでも県からいろいろ言われて大変でしたね。

日野：厳しかったですね。

清水：その中で印象に残っているのは、学術部のお金の問題。講習会でお金をいただきますよね？

平岡：参加費ですね。

清水：そう、セミナー料としてもらっているんですが、それをもらってしまうのは公益としてはおかしいだろうって話になったんです。

平岡：そんなこと言われても、無料では開催できませんよね。

清水：それで私がね、そのお金、要は会のお金を使って講師を呼んで開催して、会員でない一般の鍼灸師も参加できるようにしているんだから公益性がありますと主張したら、それが通ったんです。もしそれが通らなかつたら収入の扱いになってしまうから、公益社団にはなれなかつたでしょう。

日野：基本的には公益目的事業の「健康と医療に関する知識を提供する」ということで学術講習会を開いたんですけど、会員だけでなく一般の人にも広く案内をして募集をかけて、一般の人参加を認めて、全員からその運営費を取って運営していこうよという考え方で。そこはもう受益者負担ということでクリアできたということです。

平岡：では現在の、会員は無料で参加できるというのは、その後のことなんですね。

日野：後ですね。会員は会費から参加費を払っている形にすることで、すべての講習会を自由に参加できるようにしました。

平岡：そうだったんですね。

平岡：実際に、申請を準備し始めてから、申請が通るまではどのぐらいの期間かかったんですか？

清水：なんだかんだ1年近いんじゃないですか？

日野：結構かかっていますよね。理事会承認を得て、それからモデル定款や細則を私が作って、そして財務の講習規程を千葉先生が作ってというような感じでしたね。

平岡：ほとんど経験のないところからってことですよ。

日野：そうですね。

平岡：初めのお話では、他の県師会も公益社団法人化を進めていたと思うんですけど、他県師会とのやりとりや知識の共有などはあったんですか？

清水：ありました？

日野：ありましたよ。もういろんなところから情報もらって、ああだこうだしていました。一番最初に公益社団の認定が下りたのは、確か群馬県だったと思います。群馬県は保険事業に関して公益認定が下りているんですけど、神奈川県は保健事業は公益事業には認めてもらえなかつたんです。だから、神鍼会ではいまだに保険事業に関しては収益事業だということでやっています。

清水：保健事業が公益に認められると、もう少し運営はやりやすくなるんですけどね。神奈

川は規制が厳しいですね。

平岡:ありがとうございます。当時の大変さがよく伝わりました。その時のご尽力があって、今の公益社団法人としての神鍼会があるんですね。それで、平成 25 年度から公益社団法人としてのスタートを切ったと思いますが、公益社団法人化して変わったことや、やってよかったことはどんなところでしたか？

清水:やっぱり行政とやりとりするときだと思います。

平岡:実際に、ただの社団法人だった頃と公益社団法人になってからで、反応が違うなど感じることはありましたか？

清水:どうしても人次第というところはあるとは思いますが、ちゃんと対応してくれます。

平岡:では、公益社団法人になったことで前よりも県とのやりとりをすることが多くなったということはありますか？

清水:それは変わらないと思います。必要があれば県との交渉をおこなうのは、昔も今も変わりませんね。

平岡:他に良かったことはありますか？

清水:あとはやっぱり、公益社団法人ということで外からの評価や見え方は変わると思います。社会的な信用が違うと思いますよ。直接的にはわかりづらいですが、それは大きいんじゃないでしょうか。

平岡:逆に、公益社団法人になって大変なことはありますか？

清水:監査は大変ですね。最近はないですけど過去に何回かありました。

平岡:監査はいつおこなわれるか決まっているのですか？

清水:決まっていません。ただ、抜き打ちではなくて 2、3ヶ月前くらいに通知がきて準備するという感じです。

日野:3年に1回くらいの感じですね。これが無いよ、っていうのを全部用意して改めて提出したという感じですね。

清水:2回ありましたっけ？

日野:ええ、1回目の時は私と千葉先生が出席して、伊藤先生も清水会長も出ていなかったですね。清水会長が出たのは2回目だったと思いますよ。

平岡:公益社団法人としての毎年の会計処理や事務処理も大変そうだと感じていましたが、数年に一度監査もあるんですね。では最後に、森下先生は当時は会員としてこの出来事をご覧になっていたと思いますが、当時を振り返って何かお言葉をいただけますか？

森下:当時の先生方からも、皆さんが本当にご苦労なさって認可が下りたということをお聞きしておりました。ほかの神奈川県の団体もなかなか認可が取れないなかで、ようやくこの難しい神奈川で取れたということが、それはもうとても嬉しかったのを覚えております。

平岡:今までの話を聞いた後だと、当時を知らない我々（編集委員）にもそう感じられますね。

秋澤:私たちは公益社団法人になってから入会しているので、当たり前のように感じてしま

っていましたが、本当にありがとうございましたという気持ちです。

■事務所購入について

平岡：ありがとうございます。それでは次事務所購入の話に移ります。まずは事務所購入の経緯をお聞きしたいと思います。それまでは会長のご自宅を事務所に使う状態が続いていたと思いますが、そこからどんな流れで事務所を買うことになったのでしょうか。

清水：まずは、昔はさまざまな業界で自前の会館を作ろうっていう動きがあったんですね。なので、今はもうなくなりましたが、当時は何十年もの間、入会の際に「事務会館建設資金」という形で2万円ずつ入会費をいただいていたんです。それが、ある程度溜まっていたのがありました。あとは、当時の事務所の場所問題です。長い間、事務所は往々にして会長の自宅になっていました。会長の自宅になるということは、それだけのスペースを持っている人間しか会長になれない。いくら才能とか能力があっても、事務所をどこかに借りたりしてどうにかしなきゃならないってなると、なかなかできないんですよ。というのも、当時は会長が仕切って全部指示を出していましたから、会長と事務所が離れると大変だろうと思われて会長にはなかなか出来なかった。そういう状態だったので、事務所がどこかにちゃんとあれば、誰でも会長になれるだろうということで、そこから事務所購入の発想が始まったと思います。

日野：私は長く保険部で保険審査員をやっていましたが、保険審査会は夜に会長宅に出入りしていつも朝の3時4時過ぎまでやっていましたので、すごく迷惑だよなという思いもありました。伊藤会長の頃も鈴木会長の頃も保険審査会で3時ぐらいまでやっていました。

清水：いつも夜やっていたんだよね。

日野：いつもだいたい夜の7時8時ぐらいから始まりますから。12時過ぎたら、あとは何時までに終わるかなって感じです。12時ごろ終わったら「今日早いね!」、3時に帰ると「明日から一週間またボケるね」みたいな(笑)。でも今の保険部の皆さんは、すごく合理的なやり方で、早く終わっているような感じがしますね。それはすごいと思います。当時は5、6人いても終わりが遅かったですね。チェックが大変でね。まあ、そのチェック用の総括表を作ったのは私なんですけど。それが良くなかったのかどうかわかりませんが。

平岡：保険審査会ってというのは月一ですか？

日野：月一ですね。けっこう厳しかったですよ。誰か一人病気になったらどうすんだよ、みたいなことばかり話していました(笑)

平岡：秋澤先生は今、保険事業に携わっていますけど、どう感じますか？

秋澤：今は一日にまとめないで何回かに分けて作業できるのでそう見えるかもしれませんが、多分、会長のご自宅でやっていたら、何回も利用させてもらうのは多分無理だと思うのでそうになってしまうんじゃないでしょうか。しかも今はパソコンがありますけど、当時はア

ナログでやってたと思うと本当に信じられないです。

日野：当時もね、パソコン使ってたんですよ。

秋澤：本当ですか！？

日野：PC98 シリーズ。ソフトがロータス 1-2-3 ってやつ。

編集者注：PC98 シリーズは NEC が 1982 年に発売した 16 ビットパソコン「PC-9801」から始まるパソコン製品群。日本で最も普及した 16 ビットパソコン。ロータス 1-2-3 (ワンツースリー) は、ロータスソフトウェアが販売していた表計算ソフト。当時世界で最も売れたパソコン用アプリケーションソフトウェアであった。

日野：ずっとロータス 1-2-3 を使っていて、Excel が出てきた時には「移行した方がいいんじゃないの？」っていう話も出たんですけど、1-2-3 でソフトを組んでいるから、それを変えるのはちょっと…みたいな感じでね。大丈夫かなあと思いながらもずっと使っていましたね。

秋澤：恐ろしい (笑)

日野：恐ろしいでしょ、今となったらね (笑)。今は 1-2-3 って言ったって皆さん何それ？みたいな感じですよ。

平岡：そうすると今の事務所に移ってから移行していったんですか？

日野：そうですね。私の作った総括表も克紀さん (清水克紀理事) がもっとやりやすいように作り変えたんじゃないかな。ソフトも Excel に変わっていると思いますよ。そうですね、秋澤先生？

秋澤：Excel にはなっていますが、チェック用の総括表は昔からのものにずっと忠実にやってるんで、あんまり変わってないかもしれないです。

日野：じゃあ私のを使っていたらいい？

秋澤：かもしれないです。提出リストとかもほぼそのままに近いので。ひょっとしたら。

日野：そうなんですか！

秋澤：いつもお世話になっています。

森下：実は私も一年だけやったことがありまして。財務部長が途中で辞められた時があって、それで当時の鈴木康王会長に「明日からお前やってくれ」っていきなり言われたんですね。慌てて会計ソフトを買ってやりましたけど、めちゃくちゃになりました。それでもなんとかやりましたけどね。事務の方もいらっしやらない頃だったんで、相談するところもないし本当にもう慌ててやったことを覚えています。

日野：そうですね。「あんたやってよ」だから。

森下：それで、鈴木会長に飲ませていただきました。

平岡：報酬はそれだったんですか？

森下：そうですね (笑)

清水：報酬、アルコール。

平岡：きっとその場所が、会報誌の後ろの方に広告として載っていたんじゃないでしょうか。

清水：あぁスナックか。あったあった。

森下：川崎は飲み屋でしたよ、本当に。

日野：会報誌になんで飲み屋の名前があるんだ、なんて笑っていましたね（笑）

平岡：今みたいに事務員の方がいるようになったのは、今の事務所を購入した後からなんですか？

日野：いや、保険審査会の時だけ来てくれる事務の方がいたんですよ。鈴木先生の事務所でやっていた時はそういう方がいらして。伊藤先生の事務所になってからも伊藤先生の方が手伝ってくださいましたね。事務員っていうよりも保険審査会のお手伝いの方っていう感じでしたけど。

清水：あと吉田先生（吉田志郎先生）もずっと手伝って来ていましたよ。

日野：吉田先生は事務員っていう形で、伊藤先生になってからかな？

清水：そうです。

平岡：では今みたいに事務所に事務の方が平日日中にいるという形は、現在の事務所ができてからだったんですか。

日野：そうですね。吉田先生は、伊藤会長の時にも会長の自宅事務所に通っていましたがね。

清水：吉田先生が今でいう事務員でした。

平岡：事務所はどうして馬車道のあそこになったんですか？

清水：あれはね、前会長の服部先生が探してきたんですよ。みんなで結構探していたんですけど、たまたま服部さんからこういう物件があるよっていう情報が入って。横浜のここだ、いくらいくらだっという話になって、それで話が具体的になった。

平岡：もう本当にタイミングだったんですね。

日野：タイミング良かったですね。

清水：売買の時に立ち会ったんですが、日野先生もいましたっけ？

日野：行きました、現金を持って。〇〇〇万円、手が震えました。

清水：一万円札を数える機械を初めて見ましたね。

平岡：服部先生がその物件を持ってこられて、ああ、いいねってなってからは早かったんですか？

清水：早かったですね。1週間か10日ぐらいで決めて。馬車道は初めて行ったくらいで全然知らない場所でした。みなとみらい線がもう通っていて、一等地でした。

日野：海拔は低いですけどね。

清水：それからは色々とバタバタしました。引っ越し大変でしたよね。

日野：大変でしたね。全部持っていくって言っていましたが、処分したのものもありましたね。

平岡：購入してから事務所として落ち着くまでにはどれくらいかかったんですか？

清水：2ヶ月くらいかかったんじゃないかな、なんだかんだ。

日野：内装工事をしてエアコンを入れて、だからね。

平岡：パーティションは初めからあったんですか？

日野：なかったですね。オープンにした方が広く使えていいって意見もあったんですけど、伊藤先生が「これが良い」ってことでパーティションを付けることになりました。

平岡：伊藤先生の一声で今のパーティションが付けられたんですね。どんな目的だったんですか？

清水：目隠しを作るということでした。楽屋みたいなのを作っといたほうがいいかなと。

平岡：事務所を初めに見た時ってどんな印象でしたか？

清水：購入前の印象はあんまりでしたが、できてみたら良かったなと思いましたね。

平岡：じゃあ、できるまではちょっと不安も。

清水：5階で古かったからね。床も汚かったしね。

日野：でもね、屋上に上がったら、「花火が見られる！」とか、「ビアガーデンできそう！」とか、みんなで好き勝手なこと言っていましたよ。馬車道だし、赤レンガも近いし、なんてね。でも結局屋上にはなるべく上がらないでってなって、非常階段も使わないようになりましたけどね。

日野：森下先生はどうでした？

森下：いやー、ようやく神奈川県鍼灸師会にも城というものがね、寄り合う場所ができたなあって思いました。長い道のりだったなって思いましたね。良かったなあと思いましたよ。

平岡：それまでは定期的にその事務所を購入の話は挙がっていたんですか？

日野：たまに挙がっていましたよ。

森下：私なんかは、これからも代々の会長の自宅が事務所になるんだろうなと、考えていましたから（笑）。自前の事務所を持てるなんて、本当に時代が一つ動いたなと思いました。

平岡：そう思うと本当に大きな出来事だったんだと感じますね。

平岡：購入前と購入後で変わったこと、ほとんど変わったと思うんですけども、ここが変わったとか良かったなっていうところってそれぞれお話をうかがいたいんですけども、どうでしょうか？

清水：伊藤会長の自宅って川崎駅から結構あるんですよ。実質20分近くかかったんじゃないかな。前の鈴木先生の時も遠かった。今の事務所は駅から近いですから、すごく便利だなと思いますよ。

平岡：日野先生はいかがですか？

日野：鈴木先生のところは川崎球場のすぐ近くなので、車で行くとすぐなんですけどね。伊藤先生のところはバス使っていましたよね。夜中の保険審査会の時は車でしたけど。みんな車でズラーっと、自宅の周りに路駐が並んでいました。一回、ご近所の方から通報されて駐禁とられましたね。罰金は伊藤先生が払ってくれましたけど（笑）。でも、しっかり点数は引かれました。

平岡：森下先生は事務所が今の場所が変わって良かったなと感じるところはありますか？

森下：今までは二代続けて川崎だったので、今回は横浜で、しかも馬車道という素敵な地名のところだし、とてもいい感じだなと思いました。鍼灸師会もこれで成人したかなっていう感慨があります。

日野：地方の会の先生方に評判いいんですよ、「馬車道っておっしゃれだねー！」って言われますよ。胸張って答えてください。

平岡：2013年に神鍼会は成人したんですね。事務所も買って公益社団法人にもなって。

日野：飲めるようになりました（笑）

■全国大会について

平岡：大きなトピックの最後ですが、全国大会についてお聞きしたいと思います。これは、2015年の10月31日から11月1日にかけておこなわれた「第11回 日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川」のことですね。パシフィコ横浜の会議センターとアネックスホールを使って900人規模の大きな大会でした。

清水：日鍼会の全国大会は各県師会が持ち回りでやっているんです。それで、「次は神奈川で」という話はあったようなんですけど、いろいろと話の行き違いなんかもあって急遽担当することが決まったんです。その話があったのが2013年の11月頃。2014年4月から私が新会長になったので、すぐ翌年の開催でしたね。

日野：本当はその次の年にやる予定だったんですけど、いろいろあって2015年になっちゃったんですね。本来だったら2年間余裕があって、その間に会場確保して準備してっていうのが普通だったんですけど、この時は1年間しかなかったんですよ。だから会場がなかなか取れなくて大変でした。全国大会は毎年10月の中旬くらいに開催していたんですけど、この時、初めて10月末に日程変更したんですよ。

平岡：その日にパシフィコ横浜が空いていたからということですか？

清水：あの頃の全国大会ってすごい規模だったんです。分科会、要はセミナーですが、それを4つか5つ持っていたんですよ。今はだいぶ縮小しましたけど。だからその4~5個の分科会のセミナーもやれる場所も必要だった。それぞれ100人くらいは入れるところが。さらにその他に300~400人は入れる式典をやるような場所がないといけない。そうすると、会場はある程度限られちゃうんですよ。

日野:それでパシフィコの1,000人くらい入れるところがなんとか取れたので、そこを使おうということになりました。さらにその年がちょうど日鍼会の65周年で、その式典も一緒に開催して、懇親会を横浜港ディナークルーズのマリーンルージュ号を貸し切ってやることにしました。それがすごく受けてね。満席でした。

清水:ただ始まるまでは、マリーンルージュ号の懇親会の参加費は当時からしても高かったから、ひよっとすると誰も来ないんじゃないかと思っていたんです。だから自分の家族とかその友だちとか何人か自分でお金払って来てもらったくらい。でもいざ当日になってみたらえらい混んでて。一滴も飲めないし何も食べられなかったんですよ。何も飲み食いできない状況で2時間、いろんなところに顔出して挨拶して、お金だけ払いましたよ（笑）。

日野:好評だったんですよ。

森下:すごく良かった。素敵だったよ。

清水:やる前には欠航になったらどうすんだってという話とかもあってね、もう大変だったんですよ。

日野:欠航になったら停泊した状態でやればいいのかね。

清水:ほかにも途中で帰りたくなったら帰れないだろうとかって声もありましたね。いろいろ苦労はありましたよ。でもね、やっぱり船からの眺めは良い景色でしたよ。

日野:良かったですよ。

清水:実はね、その年の8月に関東ブロック会議も神奈川でやったんですよ。

日野:それも勢いでしたね

清水:今年も神奈川でブロック会議やりますけどね。だから大変に忙しい年でしたね。へロへロでした。

日野:関東ブロックがあるから次の年にしてくださいって言っていたんですけどね（笑）

■神鍼会の事業の変化

平岡:今までは大きな出来事について経緯とか思いとかに焦点を絞ってお話を聞かせていただきました。次は、会務などの実務的なところで、この15年での変化についてお聞きしたいと思います。

清水:保険事業は、まあ、その3、4年前くらいに受領委任払いの制度が変わりましたよね。それは大きな出来事だと思っています。保険をうまく使えるということは大事なことだと思います。保険を使えるように、同意書のとれるような環境作りには相当努力してきたつもりですけど、なかなかそれが大きな成果にはなっていませんね。

普及事業は、神奈川県横浜マラソンが、ちょうど私が会長になった時から始まったんです。神奈鍼（かなしん：神奈川県鍼灸マッサージ師会の略称）の朝日山先生が中心的に動いて尽力くださって、今のよう形になってきたという経緯があります。

学術部では、講習会の参加費を会員からは取らずに会費でまかなうようになり、会員のメ

リットが向上しました。

財務部は、初め千葉先生にやっていただいていたいて、栗田先生に移って、それから古思先生になって今は清水克紀先生ですね。税理士事務所とも連携してもらっていますが、なかなか難しい部分が多いかなと思っていますね。

学生委員会を作ったっていうのはすごくいいことだなと思っています。今まで、学生をなんとかしようといういろんな動きはあったんですけど、学生委員会っていうのができて、一段とアクセルが踏めるんじゃないかなと思っています。

平岡：日野先生は何かありますでしょうか？

日野：大体は会長が今おっしゃったような内容ですよね。横浜マラソンが始まったことで、マラソンにかなり特化した普及活動ができていますよね。小田原尊徳マラソンとか湘南国際マラソンとか、増えてきていますから。無理せずバテない程度に、助けをもらいながら継続していただけるといいなと思います。

平岡：森下先生はこれらの変化について感じることはありますか？

森下：そうですね。学生委員の開設は若い人に目を向けていて、とてもいい方向だなと思っています。

平岡：ありがとうございます。会務に関しては、その時その時の時勢を考慮しながら着実なところでしょうか。

日野：そうですね。それぞれの部長さんが、かなり尽力していただけているから大丈夫だと思っています。思う存分やっていただければ。

森下：若い人がガンガン行ってほしいですね。

■現状と未来に向けて

平岡：これまでは過去 15 年間の話をうかがってきたんですけども、最後に、現在と今後 15 年の未来についての話をお聞きしたいと思います。会員の皆さまにも同様の質問をアンケートで回答いただこうと企画しています。＜現在＞の良いところや気になるところ、そしてそれらを受けて＜未来＞に期待するところを、3つの視点＜神奈川県鍼灸師会＞＜鍼灸業界＞＜社会における鍼灸＞からお答えいただきたいと思います。（[会員アンケートは、「第 4 章 この先 15 年の未来へ ～会員アンケート～」を参照](#)）

清水：まず神鍼会に対して、ですね。良いところ、私は、神奈川県の今の役員理事はレベルが高いと思っているんです。それに真面目。もちろんだの県の理事さんもすごく真面目に一生懸命ですよ。だけど、神鍼会の人たちは、前からそうなんです、ある程度レベルが高いと感じています。気になることとしては、積極的に何かを変えようという動きが少ないかなと感じます。リスクを気にしすぎて動きとしては遅くなってしまっているかなと思っています。鍼灸業界に対しては、私は鍼灸ってすごく必要な状況だと思いますし、ますます必要になる

と思っています。この間、ケアマネの再講習を受けたんですが、65 歳以上の高齢者が神奈川県構成人口の 28.7%になるそうです。ということは高齢者が 4 人に 1 人どころじゃなくなってくるということです。身体が痛いとか動かしづらいなどの問題は増えてくるだろうと思います。そういう意味では非常に狙い目だと思っています。だからアピールの仕方だと思っています。でもアピールが実に弱い。鍼灸師会の構成人数が少ないから言っても相手にしてもらえない。だから増やさなくてはいけないんですが。経産省は健康経営を中心にして、なんとか医療費をちょっとでも少なくしようと考えています。われわれの仕事ならいくらでもやりようがありますよね。だからやり方だと思うんです。以上です。

平岡：では日野先生もお願いします。

日野：清水会長の言うとおりでと思います。神鍼会に対する現状としては、コツコツと振り返らず下がらず前に進んでいきましょうよという感じです。若い人たちは皆さん新しい感覚がありますから、それらを取り入れて進んでいくのがいいと思います。

業界に対する現状は、医師会との連携が同意書も含めあまりうまくいっていないように感じますね。

社会における鍼灸は、だんだん良い方向へは進んでいると思います。

平岡：森下先生もお願いします。

森下：そうですね、社会における鍼灸に対してですが、私は鍼灸の日本の医療の中での存在意義として、体質を変えられる唯一の医学だと考えているところがあるので、NHK などです。そういうところを取り上げてもらえるといいなと考えています。

平岡：話に熱が入り長い時間となってしまいましたが、インタビューにご協力いただきありがとうございました。はじめて耳にするお話も多く、この 15 年間の記録として、役員の方々のご尽力の一端を知ることができる記録になったのではないかと思います。また、現状の課題や未来への方向性を示す一助にもなっていればと思います。これまでの役員や会員の先生方のご尽力に感謝と敬意を申し上げ、本インタビューを締めさせていただきます。

歴代の会長



鈴木 国彰

1947-1970
第 1 代会長
鈴木 国彰

1973-1985
第 2 代会長
山田 醇一郎



山田 醇一郎

1986-1991
第 3 代会長
福岡 仁司



福岡 仁司

1992-2001
第 4 代会長
鈴木 康王



鈴木 康王



伊藤 昌芳



清水 慎司



服部 政博



清水 慎司

歴代の役員と部

	昭和53-54年度 1978-1979	昭和55-56年度 1980-1981	昭和57-58年度 1982-1983	昭和59-60年度 1984-1985
会 長	山田 醇一郎	山田 醇一郎	山田 醇一郎	山田 醇一郎
副会長	福岡 仁司 金成 彦一	福岡 仁司 松宮 俊英	福岡 仁司 松宮 俊英	福岡 仁司 松宮 俊英
総務部	金子 宗明	富田 一夫	佐藤 憲三	荻原 輝雄
財務部	沼上 一夫	沼上 一夫	伊藤 昌芳	伊藤 昌芳
学術部	松本 弘巳	松本 弘巳	松本 弘巳	松本 弘巳
広報部	天野 まち子	佐藤 仁	妹尾 匡躬	妹尾 匡躬
組織部	田村 守	伊藤 昌芳	沢井 勝三	沢井 勝三
共済部	沢井 勝三	森 務	田村 守	田村 守
保険部	—	斉藤 友三郎	本間 眞一	本間 眞一
企画部	金子 宗明 (兼)	佐藤 憲三	荻原 輝雄	除 英嗣
青年部	鈴木 信夫	天野 まち子	高橋 賢	高橋 賢
監 事	植松 治義 鈴木 康王	植松 治義 鈴木 康王	植松 治義 鈴木 康王	植松 治義 鈴木 康王

	昭和61-62年度 1986-1987	昭和63-平成元年度 1988-1989	平成2-3年度 1990-1991	平成4-5年度 1992-1993
会 長	福岡 仁司	福岡 仁司	福岡 仁司	鈴木 康王
副会長	松宮 俊英 佐藤 憲三	松宮 俊英 佐藤 憲三	妹尾 匡躬 松宮 俊英	妹尾 匡躬 松宮 俊英
総務部	荻原 輝雄	鈴木 康王	鈴木 康王	鈴木 康王 (兼)
財務部	伊藤 昌芳	伊藤 昌芳	伊藤 昌芳	伊藤 昌芳
学術部	松本 弘巳	大西 雅士	大西 雅士	大西 雅士
広報部	妹尾 匡躬	妹尾 匡躬	小野 芳子	小野 芳子
普及部	—	高橋 賢 (兼)	高橋 賢	高橋 賢
組織部	鈴木 康王	鈴木 信夫	妹尾 匡躬 (兼)	森下 元
共済部	松宮 俊英 (兼)	松宮 俊英 (兼)	松宮 俊英 (兼)	松宮 俊英 (兼)
保険部	斉藤 友三郎	鳥谷部 創治	福岡 仁司 (兼)	沢井 勝三
企画部	佐藤 憲三 (兼)	佐藤 憲三 (兼)	山橋 恵子	山橋 恵子
青年部	高橋 賢	高橋 賢	横村 吉治	清水 慎司
監 事	植松 治義 横山 中	植松 治義 斉藤 友三郎	斉藤 友三郎 横山 中	斉藤 友三郎 村田 和子

	平成6-7年度 1994-1995	平成8-9年度 1996-1997	平成10-11年度 1998-1999	平成12-13年度 2000-2001
会 長	鈴木 康王	鈴木 康王	鈴木 康王	鈴木 康王
副会長	松宮 俊英 妹尾 匡躬	松宮 俊英 萩原 輝雄	松宮 俊英	岩泉 瑠實子 高橋 賢
総務部	鈴木 康王 (兼)	鈴木 康王 (兼)	鈴木 康王 (兼)	伊藤 昌芳
財務部	徐 英嗣	徐 英嗣	徐 英嗣	中村 忠
学術部	大西 雅士	三原 基裕	三原 基裕	三原 基裕
広報部	小野 芳子	水野 豊	水野 豊	水野 豊
普及部	高橋 賢	高橋 賢	高橋 賢	高橋 賢 (兼)
組織部	吉田 和範	吉田 和範	吉田 和範	清水 慎司
共済部	妹尾 匡躬 (兼)	松宮 俊英 (兼)	喜多見 俊子	喜多 見俊子
保険部	山崎 信行	大沢 薫生	小野寺 信行	小野寺 信行
企画部	山橋 恵子	岩泉 瑠實子	岩泉 瑠實子	佐藤 常雄
青年部	日野 博	高瀬 剛	高瀬 剛	高瀬 剛
婦人 (女性)	北村 ヒトミ	枝松 カチ子	枝松 カチ子	岩泉 瑠實子 (兼)
スポーツ情報	—	—	大西 雅士	大西 雅士
介護保険	—	—	清水 慎司	大西 雅士 (兼)
監 事	村田 和子 伊藤 昌芳	伊藤 昌芳 森下 元	伊藤 昌芳 森下 元	森下 元 枝松 カチ子

	平成14-15年度 2002-2003	平成16-17年度 2004-2005	平成18-19年度 2006-2007	平成20-21年度 2008-2009
会 長	伊藤 昌芳	伊藤 昌芳	伊藤 昌芳	伊藤 昌芳
副会長	高橋 賢 清水 慎司	高橋 賢 清水 慎司	高橋 賢 三原 基裕	高橋 賢 日野 博
総務部	日野 博	日野 博	日野 博	日野 博 (兼)
財務部	中村 忠	清水 慎司 (兼)	田澤 政博	三原 基裕
学術部	三原 基裕	三原 基裕	伊賀 裕一	田澤 政博
広報部	下田代 純一	下田代 純一	下田代 純一	下田代 純一
普及部	高梨 義紀	高梨 義紀	高橋 賢 (兼)	高橋 賢 (兼)
組織部	清水 慎司 (兼)	山橋恵子	山橋 恵子	山橋 恵子
共済部	喜多見 俊子	喜多見 俊子	喜多見 俊子	喜多見 俊子
保険部	小野寺 信行	小野寺 信行	吉田 志郎	吉田 志郎
企画部	加藤 篤徳	日野 博 (兼)	植松 弘雄	下田代 純一 (兼)
青年部	小澤 大輔	小澤 大輔	服部 政博	服部 政博
婦人 (女性)	赤松 とし子	赤松 とし子	—	—
スポーツ情報	小澤 大輔 (兼)	小澤 大輔 (兼)	服部 政博 (兼)	服部 政博 (兼)
介護保険	小野寺 信行 (兼)	小野寺 信行	吉田 志郎	吉田 志郎
監 事	神山 靖雄 小野 芳子	神山 靖雄 小野 芳子	神山 靖雄 小野 芳子	神山 靖雄 石田 不二夫

	平成22-23年度 2010-2011	平成24-25年度 2012-2013	平成26-27年度 2014-2015	平成28-29年度 2016-2017
会 長	伊藤 昌芳	伊藤 昌芳	清水 慎司	清水 慎司
副会長	高橋 賢 日野 博	日野 博 清水 慎司	日野 博 千葉 良仁 服部 政博	秦 宗広 窪田 勤
総務部	日野 博 (兼)	日野 博 (兼)	秦 宗広	秦 宗広 (兼) 喜島 顕
財務部	千葉 良仁 三原 基裕	千葉 良仁	石田 伸	栗田 康男
学術部	田澤 政博	清水 慎司 (兼)	鷺田 伸二 →服部 政博 (兼) 小宮 猛史 →窪田 勤	藤田 洋輔
広報部	服部 政博	秦 宗広	江波戸 雄一	萱間 洋平
普及部	秦 宗広	秦 宗広 (兼)		
IT委員会	—	—	—	秦 宗広 (兼)
組織部	山橋 恵子	喜多見 俊子	石田 伸	林 邦昭
共済部	喜多見 俊子		林 邦昭	→窪田 勤 (兼)
保険部	吉田 志郎	吉田 志郎 服部 政博	服部 政博 (兼)	榊原 範匡
企画部	下田代 純一	下田代 純一	—	—
青年部	鷺田 伸二	菅澤 千佳	—	—
スポーツ情報	菅澤 千佳	—	—	—
庶務担当	—	—	—	吉田 志郎
監 事	神山 靖雄 石田 不二夫	神山 靖雄 石田 不二夫	森下 元 松原 次良	森下 元 松原 次良

※広報部と普及部は平成26年度に「広報普及部」に統合

※組織部と共済部は平成24年度に「組織共済部」に統合

	平成30-31年度 2018-2019	令和2-3年度 2020-2021	令和4-5年度 2022-2023
会 長	服部 政博	清水 慎司	清水 慎司
副会長	秦 宗広 藤田 洋輔	秦 宗広 藤田 洋輔 草山 真紀夫	草山 真紀夫 藤田 洋輔 大屋 朗
総務部	藤田 洋輔 (兼)	藤田 洋輔 (兼) 北原 奈那	草山 真紀夫 (兼) 三田 正樹
財務部	栗田 康男	古思 成人	清水 克紀
学術部	草山 真紀夫	大屋 朗	大屋 朗 (兼)
学生委員会	—	北原 奈那	(北原 奈那)
広報部	萱間 洋平	平岡 遼	高橋 宏 平岡 遼
普及部	小泉 ひかり	秋澤 泰久	秋澤 泰久 清水 克紀
IT委員会	秦 宗広 (兼)	宋 順姫	高橋 宏 (兼)
組織共済部	清水 克紀 林 邦昭	清水 克紀 →長野 純也	長野 純也 →藤田 洋輔 (兼)
保険部	長野 純也	長野 純也 →清水 克紀 橋口 知光	橋口 知光
危機管理委員会	—	秦 宗広 (兼) 平岡 遼 (兼)	長野 純也 (兼) 平岡 遼 (兼)
監 事	森下 元 日野 博	森下 元 日野 博	森下 元 日野 博 窪田 勤

※広報普及部は平成30年度に「広報部」と「普及部」に分割

15年間の出来事

2009年度からの15年間を各年ごとに、流行語や主なニュースと一緒に、担当理事と各部の取組みをまとめました。

2009年度

平成21年度

2009/4/1-2010/3/31

2009年の流行語
「政権交代」

2009年の漢字
「新」

役員一覧と活動中の部

会 長	副会長	副会長		
伊藤 昌芳	高橋 賢	日野 博		
総務部	財務部	組織部	共済部	保険部
日野 博	三原 基裕	山橋 恵子	喜多見 俊子	吉田 志郎
広報部	普及部	学術部	企画部	青年部
下田代 純一	高橋 賢	田澤 政博	下田代 純一	服部 政博
スポーツ情報部	介護保険部	監 事	監 事	
服部 政博	吉田 志郎	神山 靖雄	石田 不二夫	

あなたの家に神鍼会の歴史、眠っていませんか？

2013年の事務所移転により、2009年～2011年の各部のデータがありません。その当時の総会資料を保有されていて、鍼灸師会にお貸しいただける方もしくはお譲りいただける方は事務所までご連絡いただけますと幸いです。

また、今回の記念誌作成にあたり過去の会報誌を整理したところ、以下の号が見つかりませんでした。こちらもご自宅や仕事場に保管されている方がいらっしゃいましたらご連絡ください。

21号(1979年)、60号(1992年)、66号(1994年)、79号(1998年頃)、80号(1998年頃)、81号(1999年頃)、82号(1999年頃)、84号(2000年頃)、85号(2000年頃)、94号(2006年頃)、95号(2007年頃)、97号(2009年頃)、98号(2010年頃)

2010年度

平成22年度

2010/4/1-2011/3/31

2010年の流行語

「ゲゲゲの～」

2010年の漢字

「暑」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長			
伊藤 昌芳	高橋 賢	日野 博			
総務部	財務部	組織部	共済部	保険部	
日野 博(兼)	千葉 良仁 三原 基裕	山橋 恵子	喜多見 俊子	吉田 志郎	
広報部	普及部	学術部	企画部	青年部	
服部 政博	秦 宗広	田澤 政博	下田代 純一	鷺田 伸二	
スポーツ情報部	監事	監事			
菅澤 千佳	神山 靖雄	石田 不二夫			

2011年度

平成23年度

2011/4/1-2012/3/31

2011年の流行語

「なでしこジャパン」

2011年の漢字

「絆」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長			
伊藤 昌芳	高橋 賢	日野 博			
総務部	財務部	組織部	共済部	保険部	
日野 博(兼)	千葉 良仁 三原 基裕	山橋 恵子	喜多見 俊子	吉田 志郎	
広報部	普及部	学術部	企画部	青年部	
服部 政博	秦 宗広	田澤 政博	下田代 純一	鷺田 伸二	
スポーツ情報部	監事	監事			
菅澤 千佳	神山 靖雄	石田 不二夫			

2012年度

平成24年度

2012/4/1-2013/3/31

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長		
伊藤 昌芳	日野 博	清水 慎司		
総務部	財務部	組織共済部	保険部	
日野 博	千葉 良仁	喜多見 俊子	吉田 志郎 服部 政博	
広報部	普及部	学術部	企画部	青年部
秦 宗広	秦 宗広	清水 慎司	下田代 純一	菅澤 千佳
監事	監事			
神山 靖雄	石田 不二夫			

2012年の流行語
「ワイルドだろお」

2012年の漢字
「金」

主な出来事

- ＜日本＞ 塩麴の流行
- ＜日本＞ 5月22日 東京スカイツリー開業
- ＜世界＞ 7月 ロンドン五輪開催
- ＜世界＞ 8月 Microsoft Windows8発売
- ＜日本＞ 11月7日 吉田沙保里が国民栄誉賞受賞
- ＜世界＞ 11月 米大統領にバラク・オバマ氏再選
- ＜日本＞ 12月10日 ノーベル生理学・医学賞に山中伸弥

役員

- 総会
 - 5月20日 平成24年度通常総会 @川崎教育文化会館
 - 3月10日 平成25年度臨時総会 @川崎市医師会館
- 理事会
 - 5月20日 第1回 理事会 @川崎教育文化会館
 - 5月27日 第2回 理事会 @川崎教育文化会館
 - 9月2日 第3回 理事会 @ミュージア川崎
 - 11月11日 第4回 理事会 @かながわ労働プラザ
 - 1月20日 第5回 理事会 @川崎市産業振興会館
 - 2月24日 第6回 理事会 @神奈川県鍼灸師会事務所
 - 3月10日 平成24年度臨時総会 @川崎市医師会館
- 正副四者協議(計7回)
 - 5月20日、5月22日、6月6日、7月8日、9月2日、10月23日、1月13日
- 神鍼会ゴルフコンペ 10月14日 @総丘CC
- 各学校卒業式出席・表彰
 - 東京衛生学園、神奈川衛生学園、呉竹鍼灸柔整、湘南医療福祉、横浜医療

財務部

- ・平成24年度決算の作成
- ・平成25年度予算案の策定

組織共済部

- ・8月5日 経営セミナー開催「繁栄のノウハウ」徐大兼先生
- ・鍼灸学校への業界説明・入会案内パンフレット配布

保険部

- ・療養費適正運用指導会の開催(計12回)
- ・療養費適正運用研修会の開催(計2回)

広報部

- ・広報誌 ACUMO 1号作成・発行
- ・会報誌 第99号、100号作成・発行

普及部

- ・ホームページ運営管理

学術部

- ・第19回生涯研修学術講習会の開催
- ・鍼灸臨床講座(ナイトセミナー)「東西両医学のための臨床推論」5回開催

企画部

- ・市民フォーラム開催
- ・感染性廃棄物処理の調査・指導
- ・無資格者対策
- ・親睦会・忘年会の開催

青年部

- ・治療院見学会の開催(計3回)

2013年度

平成25年度

2013/4/1-2014/3/31

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長			
伊藤 昌芳	日野 博	清水 慎司			
総務部	財務部	組織共済部	保険部		
日野 博	千葉 良仁	喜多見 俊子	吉田 志郎 服部 政博		
広報部	普及部	学術部	企画部	青年部	
秦 宗広	秦 宗広	清水 慎司	下田代 純一	菅澤 千佳	
監事		監事			
神山 靖雄		石田 不二夫			

2013年の流行語

「今でしょ！」

「お・も・て・な・し」

2013年の漢字

「輪」

主な出来事

<日本> 伊勢神宮 第62回 式年遷宮
 <世界> 2月 韓国 朴槿恵が同国初の女性大統領に就任
 <日本> 5月5日 長嶋茂雄と松井秀喜が国民栄誉賞受賞
 <世界> 5月 登山家の三浦雄一郎が史上最高齢でエベレスト登頂成功
 <日本> 6月22日 富士山が世界文化遺産に登録
 <日本> 12月4日 和食が無形文化遺産に登録

役員

- 総会
 - 5月19日 定時総会 @川崎市医師会館
 - 7月28日 臨時総会 @神奈川県鍼灸師会
- 理事会
 - 4月21日 第1回 理事会 @ミューザ川崎
 - 5月19日 臨時理事会 @川崎市医師会館
 - 6月23日 第2回 理事会 @横浜市開港記念会館
 - 7月28日 臨時理事会 @神奈川県鍼灸師会
 - 9月29日 第3回 理事会 @神奈川県鍼灸師会
 - 10月20日 第4回 理事会 @神奈川県鍼灸師会
 - 12月25日 臨時理事会 @神奈川県鍼灸師会
 - 2月 9日 第5回 理事会 @神奈川県鍼灸師会
 - 3月23日 第6回 理事会 @神奈川県鍼灸師会
- 業務執行理事回
 - 7月25日、9月13日、10月9日、11月13日、1月8日、1月29日、2月12日、3月12日(計8回)
- 正副四者協議
 - 6月5日、6月23日(計2回)
- 諸団体との交流
 - 8月4日 関東ブロック正副師会長会議
 - 8月4日 関東ブロック会議 埼玉大会
 - 各学校入学式・卒業式出席・卒業生表彰(東京衛生学園、神奈川衛生学園、呉竹鍼灸柔整、湘南医療福祉、横浜医療)

財務部

- ・平成25年度決算の作成
- ・平成26年度予算案の策定

組織共済部

- ・日鍼会全国国民年金基金推進に協力
- ・日鍼会鍼灸師保障プラン加入推進に協力
- ・日鍼会がん保険加入推進に協力
- ・鍼灸学校への業界説明、入会案内パンフレット配布(日本工学院、横浜医療、湘南医療、呉竹、神奈川衛生)

保険部

- ・療養費適正運用指導会の開催(計12回)
- ・療養費適正運用研修会の開催(計2回)
- ・11月27日 全国健康保険協会神奈川支部訪問

広報普及部

12月23日 市民フォーラム開催 @川崎市川崎区
3月9日 市民フォーラム開催 @横浜市金沢区
・ホームページ運営管理
・会報誌 第101号、102号発行
・広報誌 ACUMO 2号、3号発行

学術部

・生涯研修・専門領域 学術講習会の開催
7月7日、9月1日、12月8日(計3回)
・鍼灸臨床講座(ナイトセミナー)「頸・肩・腕を含む上肢の疾患」の開催(計6回)

青年部

10月12日 全国青年部長会議に出席
3月30日 関東ブロック青年部長会議に出席

企画部

7月7日 AED導入の説明会
3月9日 赤十字基礎講習の開催
3月31日 感染性廃棄物処理調査・指導
・親睦会・忘年会の開催(8月・12月)

2014年度

平成26年度

2014/4/1-2015/3/31

2014年の流行語
「ダメよ～ダメダメ」
「集団的自衛権」
2014年の漢字
「税」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長	副会長
清水 慎司	日野 博	千葉 良仁	服部 政博
総務部	財務部	組織共済部	保険部
秦 宗広	石田 伸	石田 伸 林 邦昭	服部 政博
広報普及部	学術部		
江波戸 雄一	鷺田 伸二 小宮 猛史		
監事	監事		
森下 元	松原 次良		

主な出来事

<世界> 2月 ウクライナ危機
 <世界> 2月 冬季ソチ五輪開催
 <日本> 3月7日 あべのハルクス完成
 <日本> 4月1日 消費税が8%に増税
 <日本> 6月25日 富岡製糸場と絹産業遺産群の世界文化遺産登録決定
 <世界> 6月 西アフリカでエボラ出血熱流行
 <日本> 12月10日 ノーベル物理学賞を赤崎勇・天野浩・中村修二が受賞

役員

- 定時総会
5月18日 @神鍼会事務所
- 理事会
4月29日 第1回 理事会 @神奈川県鍼灸師会
5月18日 第2回 理事会 @神奈川県鍼灸師会
9月 7日 第3回 理事会 @技能文化会館
10月 5日 臨時理事会 @神奈川県鍼灸師会
2月 1日 第4回 理事会 @神奈川県鍼灸師会
3月 1日 第5回 理事会 @神奈川県鍼灸師会
- 会務調整会議
6月4日、7月9日、8月6日、10月1日、12月10日、1月14日、2月25日(計7回)
- 全国大会実行委員会
7月6日、9月3日、10月5日、11月5日、3月1日(計5回)

財務部

- ・平成26年度決算報告書の作成
- ・平成27年度予算書の作成
- ・ネットバンキングの導入

組織共済部

- ・鍼灸学生施術体験の協力
- ・入会案内パンフレットの作成
- 交流会
9月7日 会員交流会 @うず潮屋関内店
12月7日 忘年会 @イタリアンパールデルジロー
- 業団説明会
呉竹鍼灸柔整、神奈川衛生学園、湘南医療福祉、日本工学院八王子、横浜医療

保険部

- ・療養費適正運用研修会の開催(計2回)

広報部

- ・広報誌 ACUMO 4号 発行
- ・会報誌 第103号 発行
- ・電子メールによる情報配信の準備
- ・神奈川県鍼灸師会ロゴ入りのぼり制作
- ・ホームページ運営管理

11月30日 はりきゆう市民健康講座 in 橋本の開催 @サンエール相模原
10月30日 横浜マラソン鍼灸ボランティア講習会 第1回 @宮川町内会館
11月11日 横浜マラソン鍼灸ボランティア講習会 第2回 @宮川町内会館
11月26日 横浜マラソン鍼灸ボランティア実技研修会 @神鍼会事務所
3月15日 横浜マラソンボランティア @パシフィコ横浜

学術部

○学術講習会(5回)

- 6月1日 「井穴刺絡療法と実技」稲舛茂俊先生 @川崎市医師会館
- 7月6日 「うつについて」村上裕彦先生 @川崎市医師会館
- 9月7日 「姿勢・ゆがみの見方と改善法」伊藤和磨先生 @技能文化会館
- 12月7日 「トリガーポイントと鍼灸治療」伊藤和憲先生 @横浜市開港記念会館
- 2月1日 「現代医学から見た不妊症・鍼灸師のように器具のない状態からの鑑別・臨床であった具体例」町田稔文先生 @神奈川中小企業センタービル
「不妊症のケース別鍼灸治療と実技」小井土喜彦先生

○イブニングセミナー(6回)

- 6月5日 「山元式新頭鍼療法」徐大恒・園子先生 @横浜市開港記念会館
- 7月3日 「山元式新頭鍼療法2」徐大恒・園子先生 @横浜市開港記念会館
- 9月4日 「実践的臨床講座・肩」松本弘己先生 @横浜市開港記念会館
- 10月2日 「うつ病について」岩泉瑠實子先生 @横浜市開港記念会館
- 11月6日 「うつ病について2」岩泉瑠實子先生 @横浜市開港記念会館
- 12月4日 「実践的臨床講座・頸肩腕症候群」松本弘己先生 @横浜市開港記念会館

2015年度

平成27年度

2015/4/1-2016/3/31

201年の流行語

「爆買い」

「トリプルスリー」

201年の漢字

「安」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長	副会長
清水 慎司	日野 博	千葉 良仁	服部 政博
総務部	財務部	組織共済部	保険部
秦 宗広	石田 伸	石田 伸 林 邦昭	服部 政博
広報普及部	学術部		
江波戸 雄一	服部 政博 窪田 勤		
監事	監事		
森下 元	松原 次良		

主な出来事

- 〈日本〉3月14日 北陸新幹線開業
- 〈世界〉5月 英ウィリアム王子とキャサリン妃夫妻にシャーロット王女誕生
- 〈世界〉7月 米国とキューバが54年ぶり国交回復
- 〈日本〉10月 マイナンバー制度がスタート
- 〈世界〉11月 パリ同時多発テロで130人死亡
- 〈日本〉12月10日 ノーベル物理学賞を梶田隆章が受賞、ノーベル生理学・医学賞を大村智が受賞

役員

- 10月31日～11月1日 日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川 @パシフィコ横浜
- 8月2日 関東ブロック会議神奈川大会 @ナビオス横浜
- 定時総会
 - 5月31日 @神奈川県地域労働文化会館
- 理事会
 - 4月29日 第1回 理事会 @神鍼会事務所
 - 5月31日 第2回 理事会 @神奈川県地域労働文化会館
 - 9月6日 第3回 理事会 @神鍼会事務所
 - 2月7日 第4回 理事会 @神鍼会事務所
 - 3月6日 第5回 理事会 @神鍼会事務所
- 業務執行理事会(計10回)
 - 4月8日、5月20日、6月10日、7月8日、10月14日、11月11日、12月16日、1月13日、2月24日
- 全国大会実行委員会(計3回)
 - 6月21日、9月27日、10月25日

財務部

- ・平成27年度決算の作成
- ・平成28年度予算案の策定
- ・口座引落としによる会費徴求の管理
- ・日本鍼灸師会全国大会 in 神奈川の予算管理および決算

組織共済部

- ・「学生会員制度」の創設と学校説明(湘南、神奈川、横浜)
- ・会員割引制度の見直し
- 交流会
 - 9月4日 納涼会 @うず潮屋関内店
 - 1月24日 新年会 @ル・ファール横浜
- 業団説明会
 - 呉竹鍼灸柔整、湘南医療福祉、神奈川衛生、横浜医療、日本工学院八王子

保険部

- ・療養費適正運用研修会の開催(計2回)
- ・初心者講習会 2月11日 @神鍼会事務所

広報普及部

- ・広報誌 ACUMO 5号 発行「糖質制限触と鍼灸」
- ・会報誌 第104号 発行「全国大会特集号」
- ・ホームページ運営管理
- マラソンボランティア
 - 10月29日 丹沢湖マラソンボランティア実技講習会
 - 11月 6日 湘南国際マラソンボランティア8月2日
 - 3月13日 横浜マラソンボランティア @パシフィコ横浜

学術部

- 学術講習会(5回)
 - 6月 7日「全身治療に併せて考える美容鍼灸」遠藤美穂先生
「鍼灸治療の求められる安全と安心 —リスクマネジメント—」古屋英治先生
 - 7月 5日「片頭痛について」鳥海春樹先生
「刺さなくても効果のある鍼～ピソマ～について」長谷川智也先生
 - 9月 6日「心を診る鍼灸臨床 —摂食障害について—」岩泉瑠實子先生
「ハンディキャップとスキーを通じて障害者スポーツのけがとフォローアップ」田村英機先生
 - 12月 6日「鍼灸師としてのアスレティックトレーナー業務～鍼灸の可能性を考える～」山下貴士先生
 - 2月 7日「男性不妊～男性不妊の基礎とLOH症候群について～」天野俊康先生
「男性不妊～鍼灸研究の現在と臨床応用の可能性～」谷口博志先生
- イブニングセミナー(4回)
 - 6月 4日「深谷灸法」福島哲也先生
 - 7月 2日「古武術式痛めないからだの使い方」甲野善紀先生
 - 9月 3日「腰痛に対するCBS治療でのアプローチ(座学)」松原次良先生
 - 10月 1日「腰痛に対するCBS治療でのアプローチ(実技)」松原次良先生

2016年度

平成28年度

2016/4/1-2017/3/31

2016年の流行語
「神ってる」

2016年の漢字
「金」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長		
清水 慎司	秦 宗広	窪田 勤		
総務部	財務部	組織共済部	保険部	庶務担当
秦 宗広 喜島 顕	栗田 康男	林 邦昭	榊原 範匡	吉田 志郎
広報普及部	学術部	IT委員会		
萱間 洋平	藤田 洋輔	秦 宗広		
監事	監事			
森下 元	松原 次良			

主な出来事

<日本> 1月 マイナンバー運用開始
 <世界> 3月 米オバマ大統領がキューバ訪問
 <日本> 4月14日 熊本地震
 <日本> 5月26日 伊勢志摩サミット開催
 <日本> 6月19日 選挙権が18歳からに
 <日本> 7月22日 『ポケモンGO』サービス開始
 <世界> 8月 リオデジャネイロ五輪開催
 <世界> 世界でテロ頻発
 <世界> 12月 ノーベル文学賞に米国歌手ボブ・ディラン

役員

8月7日 関東ブロック会議 千葉大会 @千葉京成ホテル・ミラマーレ

- 定時総会
5月29日 @事務所
- 理事会
4月29日 第1回 理事会 @事務所
5月29日 第2回 理事会 @事務所
9月 4日 第3回 理事会 @事務所
2月 5日 第4回 理事会 @事務所
3月 5日 第5回 理事会 @事務所
- 業務執行理事会(計7回)
4月13日、5月11日、7月13日、8月24日、11月9日、1月25日、2月22日
- 各学校卒業式出席・卒業生表証
湘南医療福祉、呉竹鍼灸柔整、横浜医療、神奈川衛生

財務部

- ・平成28年度決算の作成
- ・平成29年度予算案の策定
- ・口座引き落としによる会費徴求の管理

組織・共済部

- ・「鍼灸学生施術体験」「インターンシップ制度」の協力要請、リスト化
- ・会員割引制度の見直し
- ・ウーベル保険事務所との意見交換会(8月24日)
- 交流会
9月4日 納涼会 @うず潮屋関内店
12月11日 忘年会 @ビストロ・リュパン
- 業団説明会
鍼灸学校へ業団説明(呉竹鍼灸柔整、湘南医療福祉、神奈川衛生)
学校訪問(呉竹鍼灸柔整、湘南医療福祉)

保険部

- ・療養費適正運用研修会(計2回)
- ・初心者講習会(計2回)
- ・療養費適正運用指導会(計12回)

広報普及部

- ・広報誌 ACUMO 5号発行「整形外科医と鍼灸」
- ・会報誌 第105号 発行
- ・ホームページ運営管理
- 10月23日 災害鍼灸医療支援研修会キックオフミーティング @神奈川県地域労働文化会館
- 2月26日 平成28年度はりきゅう市民健康講座 @中区大和町内会館
- マラソンボランティア
- 横浜マラソン2017鍼灸ボランティア講習会 11月8日
- 丹沢湖マラソンボランティア 11月27日
- 湘南国際マラソンボランティア 12月4日
- 小田原尊徳マラソンボランティア 3月12日

学術部

- 学術講習会(7回)
- 4月24日 「在宅医療における多職種連携(IPW)～鍼灸師はどう関わるか！」高田常雄先生
「鍼灸医療安全ガイドライン～安全な刺鍼技術の理解」上原明仁先生
- 6月26日 「肩関節障害の鍼灸治療～鑑別と治療の最新知見」水出靖先生
「肩関節・運動機能障害～可動域の減少について」塩島直路先生
- 10月16日 「痛みの生理学的理解とエビデンスに基づいた鍼技法の最新知見」伊藤和憲先生
- 2月19日 「骨盤にある人体をいくつ言えますか～骨盤の立体的理解を目指して」渡會公治先生
「産後ケアと鍼灸治療の実際」辻内敬子先生
- イブニングセミナー(5回)の開催
- 6月 4日 「解剖学に則った鍼技術～頭痛へのアプローチ」町田雅秀先生
- 7月20日 「頸上肢痛の鍼灸臨床の実際～遭遇した不適応疾患、その鑑別と臨床のコツ」岩本健朗先生
- 11月16日 「機能的疼痛について～身体機能と心理要因の両観点より」江原弘之先生
- 1月18日 「ランナーに対する機能評価とコンディショニングケアの実際」山下貴士先生
- 3月15日 「ランナーに対する評価と鍼灸臨床の実際」金子泰久先生
- 地域医療連携講座
- 「診察学入門講座」武田英孝先生
東京都鍼灸師会共済講座 6月5日、9月25日、3月26日(計3回)

2017年度 平成29年度

2017/4/1-2018/3/31

2017年の流行語
「インスタ映え」
「忖度」
2017年の漢字
「北」

役員一覧と活動中の部

会 長	副会長	副会長		
清水 慎司	秦 宗広	窪田 勤		
総務部	財務部	組織共済部	保険部	庶務担当
秦 宗広 喜島 顕	栗田 康男	窪田 勤	榊原 範匡	吉田 志郎
広報普及部	学術部	IT委員会		
萱間 洋平	藤田 洋輔	秦 宗広		
監 事	監 事			
森下 元	松原 次良			

主な出来事

〈世界〉1月 米大統領にドナルド・トランプが就任
 〈日本〉3月 森友学園・加計学園・PKO日報が政権を揺るがす
 〈世界〉5月 仏大統領に史上最年少39歳のエマニュエル・マクロン氏が就任
 〈日本〉6月 14歳の藤井聡太四段が29連勝の新記録
 〈日本〉12月 羽生善治が史上初の永世7冠に

役員

- 定時総会
5月28日 @事務所
- 理事会
5月 7日 第1回 理事会 @事務所
5月28日 第2回 理事会 @事務所
9月 3日 第3回 理事会 @事務所
2月 4日 第4回 理事会 @事務所
3月 4日 第5回 理事会 @事務所
- 業務執行理事会(計7回)
4月12日、6月4日、7月10日、8月16日、11月8日、1月24日、2月21日

財務部

- ・平成29年度決算の作成
- ・平成30年度予算案の策定
- ・口座引き落としによる会費徴求の管理
- ・公益法人会計ソフト導入とその運用管理

組織・共済部

- 交流会
9月 3日 納涼会 @one's kitchen
12月17日 忘年会 @金沢能家 横浜馬車道店
1月28日 第1回神鍼会ビギナーズの集い @事務所
- 業団説明会
2月27日 呉竹鍼灸専門学校
3月 1日 神奈川衛生学園専門学校
3月 8日 横浜医療専門学校
「鍼灸学生施術体験」「インターンシップ制度」の一般化

保険部

- ・関東ブロック会議 保険部分科会 8月6日 @ホテル・マロウド筑波
- ・療養費適正運用研修会 第1回 7月23日 @事務所
第2回 3月25日 @神奈川県地域労働文化会館
- ・初心者講習会 第1回 6月11日 @事務所
第2回 11月12日 @事務所
- ・療養費適正運用指導会(計12回)

広報普及部

- 広報誌の作成
 - ・会報誌 第106号 発行
 - ・広報誌 ACUMO 6号 発行「スポーツトレーナーと鍼灸」
- ボランティア
 - 11月26日 丹沢湖マラソン
 - 12月 3日 湘南国際マラソン
 - 3月11日 小田原尊徳マラソン
- 市民講座
 - 3月18日 平成29年度はりきゆう市民健康講座
- 災害研修医療研修会
 - 5月21日 第1回 @湘南医療福祉専門学校
 - 11月19日 第2回 @湘南医療福祉専門学校

学術部

- 学術講習会
 - 4月9日 第1回学術講習会 @湘南医療福祉専門学校 3F講堂
 - 第1講座:「スポーツ現場における鍼灸の得手と不得手ーアスレティックトレーナーとの違いからー」
泉重樹先生
 - 第2講座:「女性アスリート特有の問題に対する医学的知見」能瀬さやか先生
 - 6月18日 第2回学術講習会 @湘南医療福祉専門学校 3F 東洋療法科実習室
 - 第1・2講座共通:「新トリガーポイント療法」鳥居論先生
 - 9月18日 第3回学術講習会 @神奈川県地域労働文化会館 2階会議室
 - 第1講座:「呼吸器リハビリテーションの実際ー機能評価と理学療法アプローチ」内田賢一先生
 - 第2講座:「呼吸器症状に対する鍼灸臨床の実際ー臨床推論と診察技術、そして鍼灸のエビデンス-」
鈴木雅雄先生
 - 10月15日 第4回学術講習会 @湘南医療福祉専門学校 3F 東洋療法科実習室
 - 第1・2講座共通:「横浜マラソン事前研修会-マラソンを中心としたスポーツ現場における注意点-」
「スポーツ障害に対する鍼灸臨床の実際-膝関節篇-」朝日山一男先生
 - 12月10日 第5回学術講習 @湘南医療福祉専門学校 3F 東洋療法科実習室
 - 第1講座:「開業鍼灸師のための心理学」奈良雅之先生
 - 第2講座:「今注目の《大人の発達障害》」今泉瑠實子先生
 - 2月18日 第6回学術講習 @belle関内601
 - 第1講座:「鍼灸師のための皮膚科学の基礎」阿部浩一郎先生
 - 第2講座:「美容領域における鍼灸の展望」矢野忠先生
- イブニングセミナー
 - 5月10日 第1回イブニングセミナー@神奈川県地域労働文化会館2階会議室
 - 演題:鍼灸学的解剖シリーズ「解剖学に則った鍼灸臨床の実際-頸部篇-」町田雅秀先生
 - 8月9日 第2回イブニングセミナー @万国橋会議センター402号
 - 演題:「スポーツ鍼灸のM-testを交えた鍼灸臨床-」櫻庭陽先生
 - 11月14日 第3回イブニングセミナー @万国橋会議センター402号
 - 演題:「湘南国際マラソン事前研修会-マラソンを中心としたスポーツ現場における注意点」
「スポーツ障害に対する鍼灸臨床の実際-足部篇-」朝日山一男先生
 - 1月10日 第4回イブニングセミナー
 - 演題:「会員治療院における保険(療養費)活用の実際」鉾立浩先生
 - 3月14日 第5回イブニングセミナー
 - 演題:「頸上肢の鍼灸臨床-病態の鑑別と鍼灸技法」松本弘己先生
- 平成29年度 地域医療連携講座 診察学入門講座(東京都鍼灸師会主催 当会共催)@慶応義塾大学信濃町キャンパス
4月23日、6月25日、8月27日、10月22日、12月10日 平成30年 2月18日(全6回)
地域医療連携講座「診察学入門講座」(全6回) 武田英孝先生

2018年度 平成30年度

2018/4/1-2019/3/31

2018年の流行語
「そだねー」

2018年の漢字
「災」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長	
服部 政博	秦 宗広	藤田 洋輔	
総務部	財務部	組織共済部	保険部
藤田 洋輔	栗田 康男	清水 克紀 林 邦昭	長野 純也
広報部	普及部	学術部	IT委員会
萱間 洋平	小泉 ひかり	草山 真紀夫	秦 宗広
監事	監事		
森下 元	日野 博		

主な出来事

- <日本> 1月 築地市場の営業終了、豊洲市場スタート
- <世界> 2月 冬季平昌五輪開催
- <世界> 6月 史上初の米朝首脳会談
グアテマラのフエゴ山が噴火
- <日本> 7月 埼玉県熊谷で国内最高41.1℃を記録
- <世界> 7月 タイ少年ら13人全員救出＝洞窟閉じ込め
- <日本> 9月 歌手の安室奈美恵さん引退

役員

- 定時総会 5月27日 @事務所
- 理事会
 - 5月 6日 第1回 理事会 @事務所
 - 5月27日 第2回 理事会 @事務所
 - 9月 2日 第3回 理事会 @事務所
 - 2月 3日 第4回 理事会 @事務所
 - 3月 3日 第5回 理事会 @事務所
- 業務執行理事会(計7回)
 - 4月11日、6月10日、7月22日、8月22日、10月14日、1月14日、2月20日

財務部

- ・平成30年度決算の作成
- ・令和元年度予算案の策定
- ・会費徴求の管理

組織共済部

- 交流会
 - 9月 9日 第2回神鍼会ビギナーズの集い @事務所
 - 11月18日 忘年会 @酒と和みと肉と野菜 関内店
- 業団説明会
 - 2月26日 呉竹鍼灸専門学校
 - 2月27日 湘南医療福祉専門学校
 - 2月28日 神奈川衛生学園専門学校
 - 3月 6日 横浜医療専門学校
- 「鍼灸学生施術体験」「インターンシップ制度」の一般化の継続

危機管理委員会

- ・災害鍼灸医療研修会 第1回 @神奈川県地域労働文化会館

保険部

- ・療養費適正運用研修会 第1回 7月22日 @事務所
- 第2回 2月3日 @事務所
- ・療養費初心者講習会 第1回 6月3日 @事務所
- 第2回 11月11日 @事務所
- ・臨時療養費適正運用研修会 10月14日 @事務所
- ・療養費適正運用指導会(計12回)
- ・県内国保指導会(計2回)

広報部

- ・会報誌 第107号 発行
- ・広報誌 ACUMO 7号 発行

普及部

- 10月28日 横浜マラソン2018 @パシフィコ横浜
- 11月25日 よこすかシーサイドマラソン2018 @横須賀学院
- 12月2日 湘南国際マラソン2018 @大磯プリンスホテル
- 3月10日 小田原尊徳マラソン @小田原アリーナ

学術部

○学術講習会

- 4月15日 第1回学術講習会 @Belle 関内601
- 第1講座:「パルス通電療法」町田雅秀先生
- 第2講座:「パルス通電療法を用いた臨床の実際」町田雅秀先生
- 6月10日 第2回学術講習会 @ Belle 関内601
- 第1講座:「産業医療の実際」桜澤博文先生
- 第2講座:「産業領域における鍼灸施術の可能性」岩昌宏先生
- 9月2日 新人研修会 @Belle 関内601
- 演題:「臨床推論《めまい》をテーマにグループに分かれワークショップ」鈴木雅雄先生
- 第3回学術講習会 @Belle 関内601
- 第1講座:「めまいに対する診察の実際」藤田洋輔先生
- 第2講座:「めまいに対する鍼灸臨床の実際」鈴木雅雄先生
- 10月21日 第4回学術講習会 @Belle 関内601
- 第1講座:「水泳競技に起こりやすい障害のアスレティックリハビリテーション」山下貴士先生
- 第2講座:「明日から使えるストレッチと動き作りのトレーニング」山下貴士先生
- 2月24日 第5回学術講習 @湘南医療専門学校 講堂
- 第1、第2講座共通:「エンドオブライフ・ケア～地域社会における援助を目指して～」木内亜紀先生

○イブニングセミナー

- 5月16日 第1回イブニングセミナー@万国橋会議センター402号
- 演題:「スポーツ現場で鍼灸師が活動するためには～ケーススタディから考えよう～」小泉ひかり先生
- 7月11日 第2回イブニングセミナー @万国橋会議センター402号
- 演題:「臨床で役立つ! 鍼灸師のための英会話」大饗里香先生
- 9月12日 第3回イブニングセミナー @万国橋会議センター402号
- 演題:「日本鍼灸師会全国大会in沖縄 口演発表予演会・腰下肢痛の鍼灸治療(臨床のコツ)」有馬太郎先生
- 11月14日 第4回イブニングセミナー
- 演題:「はりきゅう療養費活用～臨床現場での実際～ 腰痛編」榊原範匡先生
- 1月9日 第5回イブニングセミナー
- 演題:「霧島、鍼灸師やめるってよ～新人が臨床に出てからの落とし穴～」木村朗子先生

○生涯研修「診察学Ⅰ」(東京都鍼灸師会主催 当会共催) 武田英孝先生

- 4月22日 第1回 脳神経の診方 @慶応大学信濃町キャンパス講堂
- 6月24日 第2回 運動系の診方 @白寿生科学研究所
- 8月12日 第3回 感覚系の診方 @白寿生科学研究所
- 10月14日 第4回 協調運動の診方 @白寿生科学研究所
- 12月12日 第5回 反射の診方 @白寿生科学研究所
- 2月18日 第6回 起立・歩行の診方 @白寿生科学研究所

2019年度

平成31(令和1)年度

2019/4/1-2020/3/31

2019年の流行語
「ONE TEAM」

2019年の漢字
「令」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長	
服部 政博	秦 宗広	藤田 洋輔	
総務部	財務部	組織共済部	保険部
藤田 洋輔	栗田 康男	清水 克紀 林 邦昭	長野 純也
広報部	普及部	学術部	IT委員会
萱間 洋平	小泉 ひかり	草山 真紀夫	秦 宗広
監事	監事		
森下 元	日野 博		

主な出来事

- 〈世界〉3月 プロ野球選手のイチローが引退
- 〈日本〉5月 令和に改元、皇太子徳仁親王が天皇に即位
- 〈世界〉8月 香港で反政府抗議活動
- 〈日本〉9月 ラグビーワールドカップ開催
- 〈日本〉10月 消費税10%に引き上げ

役員

- 定時総会
5月26日 @事務所
- 理事会
5月6日 第1回 理事会 @事務所
5月26日 第2回 理事会 @事務所
10月14日 第3回 理事会 @事務所
2月2日 第4回 理事会 @事務所
3月1日 第5回 理事会 @事務所
- 業務執行理事会(計6回)
4月24日、5月15日、7月17日、10月2日、1月22日、2月19日

財務部

- ・令和1年度決算の作成
- ・令和2年度予算案の策定
- ・会費徴求の管理
- ・役員報酬手当の支払管理

組織共済部

- 交流会
10月20日 新人交流会 @ビッグエコ新横浜駅前店
12月8日 忘年会 @横浜中華街 一楽
- 業団説明会
2月25日 呉竹鍼灸専門学校
2月27日 湘南医療福祉専門学校
2月28日 神奈川衛生学園専門学校
中止 横浜医療専門学校

保険部

- ・関東信越ブロック会議 保険部療養費について 8月4日 @ホテルシーネ新前橋
- ・療養費適正運用研修会 第1回 7月28日
第2回 中止
- ・療養費適正運用指導会(計12回)
- ・県内国保指導会(計12回)

広報部

ホームページ運営管理

普及部

11月10日 横浜マラソン2019 @パシフィコ横浜
11月24日 よこすかシーサイドマラン2019 @横須賀学院
12月 1日 湘南国際マラソン2019 @大磯プリンスホテル
中止 第33回 小田原尊徳マラソン

学術部

○学術講習会

- 6月16日 第1回学術講習会 兼 スポーツ研修会 @湘南医療福祉専門学校
第1講座「鍼灸師がラグビートレーナーになって」菅原亘先生
第2講座「ラグビートレーナーの実際」菅原亘先生
- 10月20日 第2回学術講習会および新人研修会 @呉竹鍼灸専門学校 8F講堂
第1講座:「専門医による頭痛の最新基礎講座」五十嵐久佳先生
第2講座:「1次性頭痛における鍼灸臨床の実際－鍼灸臨床・研究最前線」山口智先生
新人研修会:「頭痛の臨床推論ワークショップ」菊池友和先生
- 12月8日 第3回学術講習会《整形外科領域》@湘南医療福祉専門学校 1F講堂
演題:「頸肩腕症候群(痛)の効果を導く刺鍼部位と刺入深度～後頭下筋群と肩甲骨背神経へのアプローチ～」
粕谷大智先生
- 2月23日 第4回学術講習 @湘南医療福祉専門学校
第1講座:「日々の小児鍼と災害時の小児鍼」浜野浩一先生
第2講座:「家庭医から学ぶ小児科診療の実際」西村真紀先生

○イブニングセミナー

- 7月10日 第1回イブニングセミナー《鍼灸技法シリーズ》@バンコク機会センター402号室
演題:「偽内臓症状治療のための体性神経刺激～肋間神経・脊髄神経後枝への神経治療～」似田敦先生
- 9月11日 第2回イブニングセミナー《経営セミナー》@万国橋会議センター402号
演題:「元銀行員が考える鍼灸治療院経営計画の作り方」石井伸先生
- 10月30日 第3回イブニングセミナー 兼 スポーツ研修会 @万国橋会議センター402号
演題:「足底腱膜炎の鍼灸臨床」町田雅秀先生
- 1月15日 第4回イブニングセミナー
演題:「プロ野球球団専属トレーナーの実際と投球肩への鍼アプローチ」諸星潤先生

危機管理委員会

- ・9月8日 災害鍼灸医療研修会 @川崎市産業振興会館
- ・台風15号・19号対応 9月より随時対応
- ・新型コロナウイルス感染症対応 1月より随時対応

2020年度

令和2年度

2020/4/1-2021/3/31

2020年の流行語
「3密」

2021年の漢字
「密」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長	副会長	
清水 慎司	秦 宗広	藤田 洋輔	草山 真紀夫	
総務部	財務部	組織共済部	保険部	
藤田 洋輔 北原 奈那	古思 成人	清水 克紀	長野 純也 橋口 知光	
広報部	普及部	学術部	IT委員会	学生委員会
平岡 遼	秋澤 泰久	大屋 朗	宋 順姫	北原 奈那
危機管理委員会	監事	監事		
秦 宗広 平岡 遼	森下 元	日野 博		

主な出来事

<世界> 1月～ 新型コロナウイルスのパンデミック
 <日本> 1月 千葉の地層「チバニアン」地質時代名に
 <世界> 1月 トルコ東部でM6.7の地震
 <日本> 4月 政府が布マスク配布
 <日本> 8月 菅内閣が発足
 <世界> 民間初の有人宇宙船、打ち上げ成功

役員

- 定時総会
5月24日 @スペースレンタルスペース belle関内6F
- 理事会
4月29日 第1回 理事会 @Zoom
5月24日 第2回 理事会 @Zoom
10月 4日 第3回 理事会 @Zoom
2月 7日 第4回 理事会 @Zoom
3月 7日 第5回 理事会 @Zoom
※臨時理事会を7月12日、11月8日に実施
- 業務執行理事会(計9回)
4月15日、5月13日、6月17日、8月25日、9月23日、12月26日、1月27日、2月17日、3月24日

財務部

- ・令和2年度決算の作成
- ・令和3年度予算案の策定
- ・会費徴求の管理
- ・財務業務の税理士法人への委託化

組織共済部

学生委員会

- 交流会 コロナウイルス影響により中止
- 業団説明会 (組織共済部・学生委員会で協働)
3月2日 呉竹鍼灸専門学校
3月3日 湘南医療福祉専門学校
・神奈川衛生学園専門学校 動画作成し送付
・横浜医療専門学校 コロナウイルスにより中止

保険部

- ・全国保険部長会議 3月28日 @Zoom
- ・受領委任施術管理者ファシリテーター研修 1月10～11日@呉竹鍼灸柔整専門学校
- ・療養費適正運用研修会 第1回 6月14日
第2回 11月14日
- ・療養費適正運用指導会(計12回)
- ・県内国保指導会(計12回)
- ・保険業務(計12回)

広報部

- ・広報誌 ACUMO 8号 発行
- ・会報誌 第107号 発行

普及部

【コロナウイルス感染症の影響により以下中止】

- ・横浜マラソン2020
- ・よこすかシーサイドマラン2020
- ・湘南国際マラソン2020

学術部

○学術講習会

- 10月4日 新人研修会 及び 第1回学術講習会《東洋医学領域》@Zoom
 - 第1講座「学生・初者のため東洋医学入門 基礎推論 自己免疫を上げよう」鈴木康玄先生
 - 第2講座「専門医レクチャー 東洋医学を用いた診療の実際」鳥谷部創治先生
- 10月20日 第2回学術講習会 @呉竹鍼灸専門《心身医学領域》@Zoom
 - 第1講座(心の領域):「鍼灸臨床に活かすコミュニケーション-身体症状を抱える患者への心理的側面への配慮」杉山雅宏先生
 - 第2講座(体の領域):「メンタルストレスの強い慢性腰痛患者の表面筋電図の筋活動パターンと鍼治療の効果」粕谷大智先生
- 12月8日 第3回学術講習会《婦人科領域》@Zoom
 - 第1講座:「不妊症施術の基礎講座」徐大兼先生
 - 第2講座:「不妊症施術で必要なカウンセリング力・鍼灸実技供覧」徐大兼先生

○イブニングセミナー

- 7月1日 第1回イブニングセミナー兼スポーツ研修会《スポーツ/整形外科領域》@Zoom
演題:「膝関節疾患に対する鑑別と鍼灸・運動療法について～スポーツ外傷から競技復帰まで」菅原亘先生
- 9月2日 第2回イブニングセミナー《解剖学/整形外科領域》@Zoom
演題:「五十肩 ～パルスの有効活用」町田雅秀先生
- 11月4日 第3回イブニングセミナー《介護技術》@Zoom
演題:「全く身体に負荷のかからない介護技術」根津良幸先生
- 1月15日 第4回イブニングセミナー @Zoom
演題:「COVID-19における最新知見 - 1次医療の最前線と呼吸器症状の危険徴候」西村真紀先生

危機管理委員会

- ・災害鍼灸医療研修会 6回 10月26日 @川崎市産業振興会館
- ・会員向け新型コロナウイルス感染症における情報開示
- ・会員向け感染予防対策案の作成
- ・会員向け消毒薬・サージカルマスクの頒布
- ・3月24日 神奈川県とかながわ鍼灸マッサージ推進協議会が災害協定を締結

2021年度

令和3年度

2021/4/1-2022/3/31

2021年の流行語
「リアル二刀流」
「ショータイム」
2021年の漢字
「金」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長	副会長	
清水 慎司	秦 宗広	藤田 洋輔	草山 真紀夫	
総務部	財務部	組織共済部	保険部	
藤田 洋輔 北原 奈那	古思 成人	長野 純也	清水 克紀 橋口 知光	
広報部	普及部	学術部	IT委員会	学生委員会
平岡 遼	秋澤 泰久	大屋 朗	宋 順姫	北原 奈那
危機管理委員会	監事	監事		
秦 宗広 平岡 遼	森下 元	日野 博		

主な出来事

<世界> 1月 米大統領にジョー・バイデンが就任
 <日本> 7月 東京五輪開幕
 <日本> 9月 横綱白鵬が引退／デジタル庁始動
 <日本> 10月 岸田内閣が発足／眞子様結婚＝小室さんと婚姻届け、皇籍離脱
 <世界> 11月 新型コロナウイルス オミクロン株＝WHO「懸念」指定
 <日本> 12月 前沢さん、ISS到着＝日本の民間人初、宇宙旅行

役員

- 定時総会
6月20日 @事務所およびZoom
- 理事会
4月11日 第1回 理事会 @Zoom
5月30日 第2回 理事会 @Zoom
8月1日 第3回 理事会 @Zoom
9月19日 第4回 理事会 @Zoom
11月14日 第5回 理事会 @Zoom
1月9日 臨時 理事会 @Zoom
2月6日 第6回 理事会 @Zoom
3月6日 第7回 理事会 @Zoom
- 業務執行理事会(計7回)
5月19日、6月9日、7月28日、9月1日、11月3日、1月26日、2月23日

財務部

- ・令和3年度決算の作成
- ・令和4年度予算案の策定
- ・会費徴求の管理
- ・財務業務の税理士法人と協調した整備

組織共済部

学生委員会

- 交流会
 - ・忘年会 12月18日 @Zoom
 - ・新人交流会 コロナウイルスによる影響のため中止
- 業団説明会(組織共済部と学生委員会で協働)
 - ・呉竹鍼灸専門学校 コロナウイルスによる影響のため中止
 - ・湘南医療福祉専門学校 コロナウイルスによる影響のため中止
 - ・神奈川衛生学園専門学校 2月21日 動画作成し送付
 - ・横浜医療専門学校 3月9日

保険部

- ・初心者講習会 11月14日 @Zoom
- ・受領委任施術管理者ファンリテーター研修 1月10～11日 @呉竹鍼灸柔整専門学校
- ・療養費適正運用研修会 第1回 6月14日、第2回 11月14日
- ・療養費適正運用指導会(計12回)
- ・県内国保指導会(計12回)
- ・保険業務(計12回)

広報部

- ・会報誌 第108号 発行
- ・広報誌 ACUMO 9号 発行

普及部

- 一般市民講座
6月13日『一般市民講座 初めてのお灸教室』@Zoom
12月13日『一般市民講座 鍼灸ってなかに 腰痛・腹痛編』@Zoom
- ボランティア ※コロナウイルス感染症の影響により以下中止
横浜マラソン2021、湘南国際マラソン、よこすかシーサイドマラソン2021

学術部

- 学術講習会
8月22日 新人研修《美容領域》@Zoom
第1講座「鍼灸師のための皮膚科学～シミの基礎講座～」阿部浩一郎先生
第2講座「美容鍼灸領域における研究の最新知見」山崎翼先生
9月5日 埼玉県鍼灸師会 第1回学術講習会 日鍼会関東甲信越ブロック共催 @Web開催
第1講座:「有害事象調査からスポーツ鍼灸の最適な治療を再考する」藤本英樹先生
第2講座:「スポーツを継続するために、鍼灸をどう活用するか」池宗佐知子先生
第3講座:「東京2020大会と鍼治療」宮本俊初先生
9月26日 第2回学術講習会《整形外科/膠原病領域》@Zoom
テーマ:リウマチ治療の最新知見
第1講座:「コメディカルが知るべきリウマチ最前線」上田敦久先生
第2講座:「膠原病領域(関節リウマチ)」粕谷大智先生
11月21日 第3回学術講習会《東洋医学領域》@Zoom
第1講座:「鍼灸師のための漢方(生薬)基礎講座」平地治美先生
第2講座:「東洋医学的鍼灸臨床の実際」篠原昭二先生
1月16日 第4回学術講習会《整形外科領域》@Zoom
第1講座:「腰痛臨床における解剖学に基づいた鍼治療～組織別治療法～」町田雅芳先生
第2講座:「腰痛臨床における機能評価とリハビリテーション～鍼灸師が知るべき知見～」伊藤智一先生
- イブニングセミナー
6月2日 第1回イブニングセミナー兼スポーツ研修会《スポーツ/整形外科領域》@Zoom
演題:「運動連鎖から学ぶ鍼灸師のストレッチ&エクササイズ」山下貴士先生
10月6日 第2回イブニングセミナー兼スポーツ研修会《スポーツ/整形外科領域》@Zoom
演題:「鍼灸技術シリーズ解剖学的鍼療法～局所単収縮反応を活かした鍼技術～」斎藤隆夫先生
12月15日 第3回イブニングセミナー @Zoom
演題:お灸を使おう! 「灸の歴史と点灸の神髄」宮川浩也先生
3月9日 第4回イブニングセミナー《施術所紹介/経営セミナー》@Zoom
演題:「オンライン施術所見学ツアー経営について聞いてみよう」清水慎司先生、小井戸善彦先生

危機管理委員会

- ・災害医療研修会はコロナウイルスによる影響のため中止

2022年度

令和4年度

2022/4/1-2023/3/31

2022年の流行語

「村上様」

2022年の漢字

「戦」

役員一覧と活動中の部

会長	副会長	副会長	副会長	
清水 慎司	草山 真紀夫	藤田 洋輔	大屋 朗	
総務部	財務部	組織共済部	保険部	
草山 真紀夫 三田 正樹	清水 克紀	長野 純也	橋口 知光	
広報部	普及部	学術部	IT委員会	学生委員会
高橋 宏 平岡 遼	秋澤 泰久 清水 克紀	大屋 朗	高橋 宏	(北原 奈那) ※非理事
危機管理委員会	監事	監事	監事	
長野 純也 平岡 遼	森下 元	日野 博	窪田 勤	

主な出来事

- 〈世界〉2月 ロシア軍、ウクライナ侵攻
- 〈日本〉4月 円急落、一時131円台=20年ぶり
- 〈日本〉7月 安部元首相、襲撃され死亡
- 〈世界〉9月 エリザベス英女王国葬
- 〈世界〉10月 プロ野球ヤクルトのト村上、史上最年少で三冠王

役員

- 定時総会
6月19日 @事務所およびZoom
- 理事会
4月17日 第1回 理事会 @Zoom
5月29日 第2回 理事会 @Zoom
6月19日 第3回 理事会 @Zoom
6月16日 臨時 理事会 @Zoom
7月24日 第4回 理事会 @Zoom
11月27日 第5回 理事会 @Zoom
1月29日 第6回 理事会 @Zoom
3月 5日 第7回 理事会 @Zoom
- 業務執行理事会(計8回)
5月18日、6月19日、7月13日、8月10日、11月16日、1月25日、2月15日、3月15日

財務部

- ・令和4年度決算の作成
- ・令和5年度予算案の策定
- ・会費徴求の管理
- ・財務業務の税理士法人と協調した整備

組織共済部

学生委員会

- 交流会 1月12日 新年会 @Zoom
- 業団説明会(組織共済部と学生委員会で協働)
2月28日 呉竹鍼灸専門学校
3月 1日 湘南医療福祉専門学校
3月 9日 横浜医療専門学校
3月 2日 アルファ医療福祉専門学校
2月28日 日本工学院八王子専門学校

保険部

- ・初心者講習会 第1回 6月26日 @事務所
第2回 3月26日 @事務所
- ・療養費適正運用研修会(計12回)
- ・保険取扱い会員および希望会員からの問合せ対応

広報部

- ・会報誌 第109号 発行
- ・広報誌 ACUMO 10号 発行

普及部

- 10月30日 横浜マラソン2022 コロナ禍にて主幹・担当部員のみ参加 @パシフィック横浜
- 11月11日 中区民祭りハローよこはま2022 @象の鼻パーク
- ※コロナウイルス感染症の影響により以下中止
 - ・湘南国際マラソン コロナ禍の影響により不参加
 - ・よこすかシーサイドマラソン2021 コロナ禍の影響により不参加
 - ・かながわ駅伝2022 前日の路面凍結の影響により大会中止

学術部

○学術講習会

7月31日 第1回 学術講習会《小児鍼》@ Web開催

第1講座「子供の診方」鈴木信先生

第2講座「施術の方法」鈴木信先生

10月16日 第2回 学術講習会 及び 新人研修 《日本鍼灸師会 関東甲信越ブロック共催事業》@ Web開催
《鍼灸におけるストレスマネジメントの貢献》

新人研修:【基礎講座】「就業者の心身の疾病構造と医療での貢献」櫻澤博文先生

第1講座:【臨床講座】「就業者のストレスマネジメントにおける心理師の貢献」千田恵吾先生

第2講座:【臨床講座】「鍼灸における就業者へのストレスマネジメントの実際」福田文彦先生

12月18日 第3回学術講習会《リスクマネジメント講習会》@Web開催

第1講座:「鍼の有害事象と注意点」山下仁先生

第2講座:「灸の有害事象と注意点」上原明仁先生

第3講座:「賠償責任保険の活用からみる現状と対策」三井住友海上・ウーベル保険事務所 ご担当者様

第4講座:「異性等に対する臨床配慮の工夫」徐大兼先生

2月19日 第4回学術講習会 @Web開催

第1講座:「漢方シリーズ Vol.2」平地治美先生

第2講座:「さまざまなお灸」大熊千尋先生

○イブニングセミナー

6月8日 第1回イブニングセミナー《整形外科領域》兼スポーツ研修会 @Zoom

演題:「体幹・股関節 ストレッチ&エクササイズ」山下貴士先生

9月14日 第2回イブニングセミナー《鍼灸技術シリーズ》@Zoom

演題:「美容鍼灸:機能解剖学・顔学からのアプローチ」土門奏先生

11月9日 第3回イブニングセミナー 兼スポーツ研修会 @Zoom

演題:「足底筋膜炎の鍼灸臨床」町田雅秀先生

3月9日 第4回イブニングセミナー @Zoom

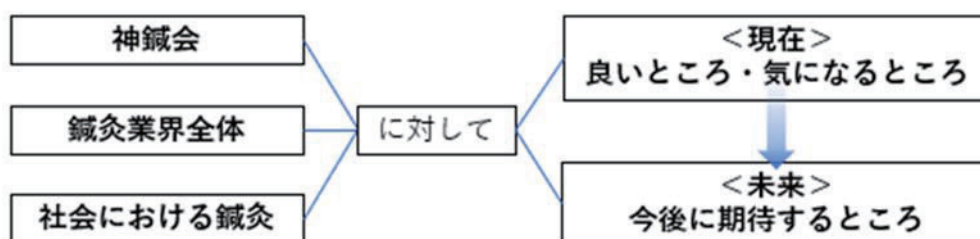
演題:「施術所見学ツアー Vol.2」米山明子先生、佐藤由紀子先生

危機管理委員会

- ・10月9日 日本赤十字社 救急法基礎講習

この先 15 年の未来へ ～会員アンケート～

今回の記念誌作成にあたり、過去から現在、そして未来へと目線を向けるための企画として、当会会員にアンケートをおこないました。＜現在＞の良いところや気になるところを挙げてもらい、それらを受けて＜未来＞に期待するところを、3つの視点＜神奈川県鍼灸師会＞＜鍼灸業界＞＜社会における鍼灸＞から答えていただきました。全会員（送付時 200 名強）にアンケートを送らせていただいて得られた回答を、句読点や誤字・脱字などの軽微な校正だけ施して、すべて掲載しております。ご協力いただきました先生方に感謝を申し上げます。本企画が今後の神鍼会および鍼灸会全体の発展を考える一助になれば幸いです。



＜回答者 計 36 名の内訳＞

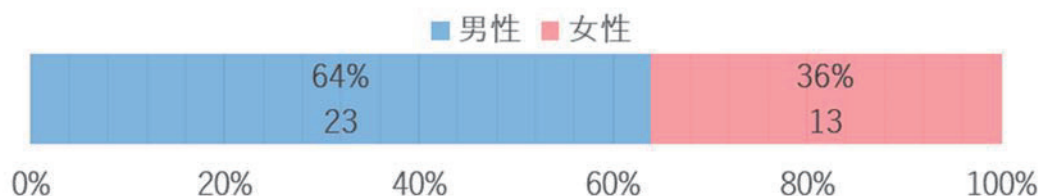


図 1. 回答者の男女比

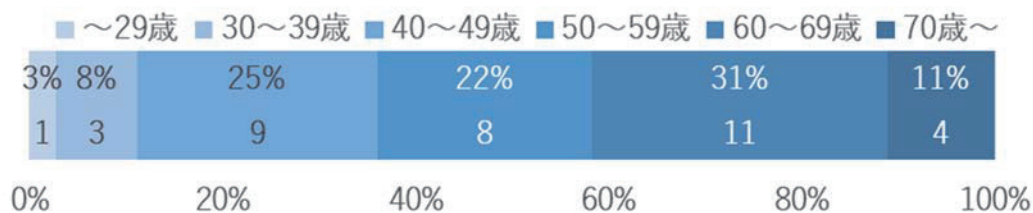


図 2. 回答者の年齢

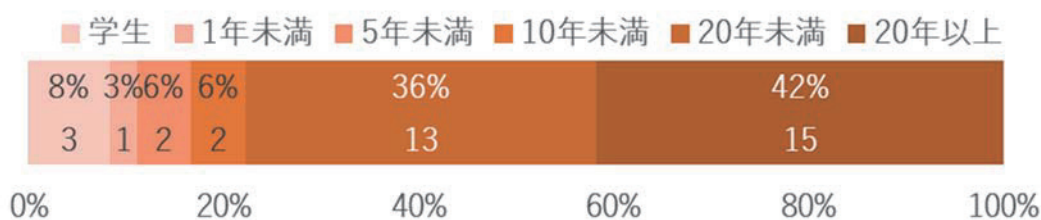


図 3. 回答者の臨床歴

神奈川県鍼灸師会に対して <現在>

良いところ

- ・無料で勉強会が受けられる。入会している事で情報が手に入れられる。同業者との繋がりが持てる (A.Y.)
- ・コロナ禍等で大変な時期もあったかと思いますが、いち早くオンライン講習会を開催して下さったり、活動内容がとても良いと思っています。また、事務局の方へ問い合わせをするといつも親切丁寧にに対応してくださりととても感謝しています (K.N.)
- ・活動を増やそうという方向性が見えている (S.K.)
- ・勉強会が充実している (M.N.)
- ・いつも丁寧な案内に感謝しております (Y.E.)
- ・鍼灸師仲間ができること。様々なジャンルの勉強ができること。なんでも相談できることがあること (S.Y.)
- ・みんな優しい感じ、会った時にみんな挨拶してくれる (A.M.)
- ・個人開業の鍼灸師にとって繋がりができる (M.M.)
- ・講習会やセミナーの費用が無料なところ (I.M.)
- ・医療過誤、コロナワクチン確保など、一匹狼鍼灸師の不安に対応してもらえる (H.S.)
- ・鍼灸師の地位向上に前向きに活動している (K.M.)
- ・色々な講座を開催してくれる (H.T.)
- ・セミナーの先生方の人選が実に良い！人柄の良い、患者様に寄り添った確かな施術をなさる、尊敬できる先生方ばかりの魅力的なセミナーは大変勉強になる (I.E.)
- ・勉強会のテーマが興味深い (M.K.)
- ・地域ケアの交流や災害時の活動、スポーツボランティアなど個人では難しいことも会を通して参加することが出来る。また、鍼灸はもちろんのこと鍼灸以外にも様々な情報共有をして頂ける事がとてもありがたい (S.R.)
- ・レセプトの指導、質問を聞くことができる。最新の情報交換が出来る (K.T.)
- ・現状に合った講習会が用意されている (K.T.)
- ・いろいろ講座が開催されている。会員同士の交流に力を入れている (M.A.)
- ・勉強会がある。賠償保険に加入できる (K.M.)
- ・学術が充実している。会員が講習会費無料なのも良い。残念なのは、新型コロナでZoom開催になった事 (Y.S.)
- ・情報提供がスムーズで、社会的にも、技術職としても必要な情報を提供してくれる (Y.A.)
- ・色々な勉強会を実施している。業界の動向を知ることができる。他校の出身者と親しくなれ、情報交換できる (S.K.)
- ・皆さんが努力されていてがんばっている (勉強会等) (O.Y.)
- ・私が入会してから各部門、分野でより良い形にアップデートされ続けている (S.Y.)

気になるところ

- ・より多くの方に委員・部員として参加、活躍してほしい (T.H.)
- ・会員に活動内容の周知理解が不十分な印象を受ける (S.K.)
- ・所属を躊躇う人が多いこと。会費が高めなところ (S.Y.)
- ・若い人の入会が少ないこと (M.M.)
- ・会員数が減っている (S.Y.)
- ・会員の減少 (K.T.)
- ・活用方法が分からない (M.Y.)

その他

- ・鍼灸師会には入っているが、日頃会の活動を見ていないため「良い所」「気になる所」はあまり分かりません。皆様が一生懸命頑張って活動しているのは間違いないと思いますので、感謝の意を表したい (T.B.)
- ・いつも何かとご指導頂きありがとうございます (S.M)
- ・いつもお世話になっております (M.M)

神奈川県鍼灸師会に対して <未来へ>

今後に期待すること

- ・会員同士の繋がりや、行政に対しての働きかけが増えると良い (A.Y.)
- ・生業としての鍼灸師にとって、無くてはならない団体になってほしい (T.H.)
- ・会員同士が交流する機会をこれからも作って頂けたらと思っています (K.N.)
- ・入会しているからこそ得られる付加価値を高めてほしい (S.K.)
- ・鍼灸の普及、保険適用の緩和にむけての働きかけ (M.N.)
- ・世の中に貢献出来る業だと思っているので、認知度向上を頑張って貰いたい。また、会う機会が少なくなったので増えて欲しい (A.M.)
- ・会の活動になるべく会員が参加できるように、もしくはして貰えるようにすること (M.M.)
- ・沢山の鍼灸師が加入し、活発でオープンな活動が行われることを期待する (I.M.)
- ・今後も時代に合わせた鍼灸師の地位向上活動に期待します (H.S.)
- ・鍼灸師が社会的に認知されるようにしていきたい (K.M.)
- ・日程が合わずに参加できない講座をあつて見られる期間などがあると嬉しいです (H.T.)
- ・今後も素晴らしい先生方のセミナーを期待しております (I.E.)

- ・Zoomだと参加しやすい (M.K.)
- ・鍼灸師会と他職種の会が交流することで、ケアを必要とする方にとってよりプラスになることが出来たらと思う (S.R.)
- ・本当は卒業した鍼灸師全員に卒後研修が必要なので、その一端をぜひ担っていただきたい (H.R.)
- ・業界全体の意見、総意の取りまとめ役を務めてもらいたい (K.T.)
- ・多くの会員がイベントに参加してほしい (K.T.)
- ・これまでのように、講座開催と会員同士の交流を進めてほしい (M.A.)
- ・新規会員の勧誘と獲得に努力して頂きたい (T.H.)
- ・実技の勉強会等、卒後研修が受けられるような制度があると良い (K.M.)
- ・良く分からないが、私のような世間に疎い人間を取り込んで、何かの形で「対話式のコミュニケーション」が出来たらいいかもしれません (T.B.)
- ・会員同士の交流が盛んになること (Y.S.)
- ・社会的な組織としてもありがたいですし、個人的なつながりもネット環境を使って構築できたら面白いなあって思います (Y.A.)
- ・患者からの期待に応えられるように、会員の鍼灸治療の技量向上 (S.H.)
- ・あと数年はアナログ世代にも良く面倒見て頂きたくお願い致します (S.M.)
- ・参加したいと思える行事が増えると嬉しい (M.Y.)
- ・全会員にとってプラスな師会を保持してもらおう事 (S.Y.)

鍼灸の業界全体に対して <現在>

良いところ

- ・色んな意味で、保険取扱について施術管理者や受領委任登録など行政が絡んできて整備が整われたのは良い事だと思う (A.Y.)
- ・医療としての認知・認識が昔よりは高まっている印象はある (S.K.)
- ・少しずつ認知されていると思う (M.N.)
- ・最近ではテレビで紹介されることが増えたこと (S.Y.)
- ・国家資格者としてしっかりと知識と技能を有している事だと思います (M.M.)
- ・当院での感触は、若い方にも鍼灸のニーズが増えている。病院の診察に不満・漢方薬の需要増・テレビなどマスコミ効果と思われる (S.Y.)
- ・コロナの流行以降、免疫力を高めることの大切さが改めて見直されてきています。鍼灸で免疫力アップが期待できる事を更に多くの人に知って貰えれば、今後の発展も期待出来ると思います。一方、お金儲けにばかり重点を置いている先生がいらっしゃるのも確か。確かに利益を出すことも大切ですが、それを鍼灸の世界に持ち込むと鍼灸師の地位の向上からは遠ざかってしまうように思えてなりません (I.E.)
- ・応用範囲がとても幅広く、様々なアプローチが出来る事です (S.R.)
- ・以前より少しずつ、鍼灸の理解が進んできている手応えを感じている (K.T.)
- ・常に鍼の普及を考えているところ (K.T.)
- ・鍼灸治療には、通常の医療が提供出来ないものがある事はとても良いので、この特徴をもっと伸ばして欲しい (T.B.)
- ・制約の多い職種だけど、楽しんでやっている人が多い (Y.A.)
- ・薬の頼らない施術が可能なところ (O.Y.)
- ・1つにまとまると良いかなと思う (M.Y.)
- ・鍼灸の啓発活動という目的に業界が一つにまとまって来たこと (S.Y.)

気になるところ

- ・業界全体の力は依然弱い印象である (S.K.)
- ・決して多くはない業界なのに流派や団体が細かく存在、分断している (T.H.)
- ・鍼灸師という仕事は、患者さんに喜ばれて素晴らしい仕事であると思っていますが、認知度が低く鍼灸治療を受ける機会がない方が多いことは気になっています (K.N.)
- ・ある程度利益がないと業界が縮小していくと思われる (M.N.)
- ・鍼灸に対して良くない印象を与えるような施術を行う院の話聞くことがある (S.T.)
- ・まだまだ地味なイメージがあること。まだまだ敷居が高い。値段が高い (S.Y.)
- ・会員数が減少していることと、関連団体が3つあることです (M.M.)

- ・往診のみの鍼灸師が増え、治病力のある昔ながらの鍼灸師が少なくなっている気がする (H.S.)
- ・あまりまとまる事無く、それぞれが活動しているように見える所が気になる (I.M.)
- ・鍼灸は古い、鍼は痛い、お灸は熱いなどのイメージを払拭するキャンペーンを実施するとかで、鍼灸ファンを作りたいと考えて欲しい (M.K.)
- ・良き後継者が育つ環境になっているかどうか (K.T.)
- ・業界としてまとまってないところが発信力の弱さなのかもしれない (M.A.)
- ・もっと鍼灸治療の良さを一般人の皆様に宣伝して欲しいです (K.A.)
- ・定期的に勉強会を開催していることは良いと思いますが、美容鍼に傾いてしまい臨床よりもビジネスに傾いていることを懸念しています。病気を治療し、完治させる鍼灸治療の学術向上に努力して、病院で治らない患者さんを治せる鍼灸師の養成に努力して頂きたいと思います (T.H.)
- ・最近どこを見ても治療費が 6,000 円~10,000 円が当たり前ようになってしまった。鍼灸治療は専ら金持ちのための治療になってしまった。「保険診療がある」と反論されるかもしれないが、保険診療では極めて限定的な部位・症状にしか対応できないため、鍼灸治療の良さは台無しになってしまいます (T.B.)
- ・現在は、残念ながら低迷していると思う (Y.S.)

鍼灸の業界全体に対して <未来へ>

今後に期待すること

- ・医師や行政に対する発言力が増えてほしい。また、しっかりエビデンスや統計を集めて保険の取り扱い傷病名が増えて欲しい (A.Y.)
- ・鍼灸師の社会的な役割を發揮できる場作り (T.H.)
- ・鍼灸治療が今よりもっと身近な存在になると良いなと思っています (K.N.)
- ・業界全体の力の底上げが出来ると良いと思います (S.K.)
- ・努力している人がしっかり報われる業界になって欲しい (M.N.)
- ・技術もある程度担保された資格制度 (S.T.)
- ・もっと気軽に受けられるようになる。美容室のように定期的に通う場所になる (S.Y.)
- ・行政への発言力が増えて欲しい (A.M.)
- ・鍼灸の認知度をもっと高めてほしいです。例えば、CM などメディアでのアピールが必要だと思います (M.M.)
- ・鍼灸の未来は暗いとは全く考えていない。が、今までとは全く違う活動が必要と考えている (I.M.)
- ・昔からある鍼灸術を継承していく鍼灸師が増えることを期待します (H.S.)
- ・受療率を上げる工夫を考えたい (K.M.)

- ・鍼灸業界を活気づけるには数や結束力が必要だと思います。グループが分散しそれぞれに活動するよりも協力して、鍼灸の普及活動・組織の合併などできるとよいと思います (S.Y.)
- ・心身ともに健康になれるものであると、もっと知ってもらえればと思う (I.E.)
- ・鍼灸治療におけるエビデンスや実績が確立されて、他職種の方から推奨されるようになればと期待します (S.R.)
- ・一人でも多くの鍼灸師に職業団体に入会をしてもらいたい (K.T.)
- ・医学の進歩と並行して鍼灸の道も明るいものとなること (K.T.)
- ・西洋医学にはない、良い所を発信していくこと (M.A.)
- ・西洋医学には無い魅力を広めて頂きたい (K.A.)
- ・病気を治せる鍼灸師の養成に力を入れて頂きたい (T.H.)
- ・鍼灸マッサージ師会や、盲人の鍼灸団体などとも情報共有が出来、業界全体が発展すること (K.M.)
- ・鍼灸師は「東洋医学の知恵／知識の番人」だと思います。その知恵＝宝物を誰にでも「遠慮なく、無料で分ける」心得を見てみたい (T.B.)
- ・安心安全で効果的な施術を免許保持者なら誰でも出来るようにする。業団の役目 (Y.S.)
- ・シンプルな鍼、お灸の施術を知ってほしい (Y.A.)
- ・無資格者に対して、有資格者の施術の利点を業界全体としてアピール（ネット広告なども含め）していければ有難いです (S.K.)
- ・業界発展について、「整体師」などと自称している無免許業者の横行を「啓発」し区別する事が我々業界の発展の道である (K.A.)
- ・鍼灸のイメージダウンになるような不祥事が無いように願う (S.Y.)
- ・鍼灸治療が、最終的には医療費の節約に繋がる事を広く伝えて欲しいです (K.A.)

社会における鍼灸に対して <現在>

良いところ

- ・最近ではテレビでよく東洋医学の特集が組まれたり、訓練指導員なども鍼灸師が出来るようになってきたりと、社会的役割が増えてきて嬉しい (A.Y.)
- ・代替医療と言われるが、医療の一翼は担っていると思う (M.N.)
- ・マスメディアなどでは、さまざまな流派、やり方があるにもかかわらず、ある一方面だけから取り上げている (S.T.)
- ・以前より妊活やスポーツの場でも活躍している。知識が豊富な先生も多い (S.Y.)
- ・最近またテレビでも取り上げられつつあり、医療として貢献できる機会が増えている所 (A.M.)
- ・東洋医学の一役を担っていることだと思います (M.M.)
- ・少子高齢化が進む中で減っていく働く世代の、疾患による離脱を防ぐことが鍼灸によりサポートできるのではと考えています (S.R.)
- ・薬の節約にもなるメリットを宣伝してみてもと思います (K.A.)
- ・自由度が高い (Y.A.)
- ・呼吸器系や循環器系など内科的疾患に対しても鍼灸治療が有効であることの啓発活動(呼吸器系や循環器系など内科的疾患に対して的確に治療効果を出せる鍼灸師の育成が前提ですが・・・) (S.H.)
- ・とてもニーズのある職種と感じております (M.Y.)
- ・まだまだ未開拓な分野なので伸びしろがあると思う (S.Y.)

気になるところ

- ・知名度、実体験の不足 (T.H.)
- ・認知度が低い所 (K.N.)
- ・昔に比べれば敷居が下がっている印象だが、それでもまだ高いハードルを感じる (S.K.)
- ・鍼灸院自体は増えているが中身が見えない点が共通している印象で、業界全体の敷居の高さに繋がっている印象 (S.K.)
- ・認知度がまだまだ (M.N.)
- ・患者さんはどこへ行っていいかわからないという人が多い。SNS など上手に利用したい (S.Y.)
- ・鍼灸が痛い・熱いというイメージがあることです (M.M.)
- ・同意書の同意をお願いしたい (K.M.)
- ・まだまだ鍼灸の良さが知られていないと思う。(地域差有り?) (I.M.)
- ・副作用がなく、健康長寿のために有効であるアピール。高額な回数券を売りつけられる

被害をよく耳にするようになる。チェーン展開している鍼灸接骨院などに注意が必要。事故や犯罪が整体であった場合と同じく、鍼灸マッサージ業界のイメージダウンになる危機感を持つ (S.Y.)

- ・認知度がまだまだ低いと思う (I.E.)
- ・鍼灸の理解と普及が深まって欲しい (K.T.)
- ・鍼灸師、按摩指師等の理解と存在価値 (K.T.)
- ・効果あまり知られていない (M.A.)
- ・病気を治せる鍼灸師が期待されている点は有り難いが、鍼灸は美容鍼だけと勘違いされている点は反省しなければならないと思います (T.H.)
- ・受療率が5%前後と低い (Y.S.)
- ・西洋医学に対する進歩に伴い、鍼灸が見放され来ているのではと感じる (O.Y.)
- ・昔より改善されたものの、鍼治療に対する理解が広まっていないように思われます (S.M.)

社会における鍼灸に対して <未来へ>

今後に期待すること

- ・もっと一般の方に、薬や外科治療以外の選択肢として鍼灸を選んで貰えるような「医療」としての鍼灸の認知が広がって行って欲しい (A.Y.)
- ・満足度の向上に伴い、体験者（患者）からのより多くの発信 (T.H.)
- ・もっと身近な存在になること (K.N.)
- ・受療率の拡大を目指していく必要はあると考えます (S.K.)
- ・養成施設がレベルをあげる事により質の良い鍼灸師が増える (M.N.)
- ・より多くの人に鍼灸の良さを知ってもらい受けてもらいたい (Y.E.)
- ・若い頃から鍼灸の良さ知ってもらう事。他の職種とコラボしていく事で、接点のない方と鍼灸が会うきっかけを作る。鍼灸師が視野を広げ外へ出ていく (S.Y.)
- ・やはり敷居が高いと思われているので、鍼灸というものがより身近な存在になって欲しい (A.M.)
- ・今後期待する事は、侵襲性の少ない鍼灸で効果が得られ、鍼灸を受けてみたいという人を増やせるようにすることだと思います (M.M.)
- ・鍼灸がもっと身近なものになって欲しい。高齢者などだけでなく10代の頃から鍼灸に接することが出来る環境や、日本に住む（または日本を訪れた）海外出身者も鍼灸を体験できるような状況になる事を期待する (I.M.)
- ・療養費の利用を推進していきたい (K.M.)
- ・予防医学としての真価を発揮し、西洋医学との役割分担。無駄な医療費の削減、社会保険料を抑えられると良い (S.Y.)
- ・鍼灸治療を受けたことがある人が増えてくれると嬉しいです (H.T.)

- ・医療と連携を取れる場面がより多くなっていく事を期待する。また、メンタル的な問題を抱える若い世代の方達こそ効果が出やすいように思えるので、若い人たちに鍼灸が浸透していく事を期待している (I.E.)
- ・鍼灸をもっとテレビで取り上げてほしい (M.K.)
- ・早いうちからの鍼灸ケアで、高齢になってもできるだけ元気に自立した生活ができ、ご家族やご親族が心配することなく思い切りライフイベントを行なっていけることで、さらに元気な社会にしていけるよう期待します (S.R.)
- ・少しでも療養費が使いやすくなってほしい。少なくとも今以上に使いにくくはならないでほしい (K.T.)
- ・鍼灸師、按摩指師の存在意義が理解され、働く職場が増加すること (K.T.)
- ・未病、養生に役立つところを知ってもらいたい (M.A.)
- ・鍼灸師の治療技術と人間性が問われている時代です。鍼灸師のレベルの向上に努力しなければならぬと思います (T.H.)
- ・胃痛、不妊など内科系疾患にも対応できると知れ渡ってほしい (K.M.)
- ・心身の不調には鍼灸、と思ってもらえるようにしたい (Y.S.)
- ・自分も気楽に受けられる環境が欲しい。案外、他の人がどんなふうに行っているか知らなくて、二の足を踏んじゃったりしてます。今、自分がやっているような鍼灸を、誰かにやって欲しいっていつも思います (Y.A.)
- ・症状疾患について現代医療の診察検査処置を受けつつも、患者さんが「体調不良全般に対して鍼灸が有効」との認識のもとに鍼灸院へ足を運んで頂けるような、社会的コンセンサスを形成して行く (S.H.)
- ・鍼灸を正しく評価してもらおうこと (S.Y.)

「いつもの日常を
特別な日に。」

トータルボディコンディショニングシステム

DENBA Health



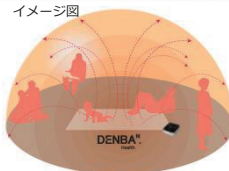
写真は DENBA standard

DENBA Healthはマットを中心に360°の超低周波電位空間を作り出します。

人間の体も約6~7割が水分です。

このマットの上、および空間の中では体内の水分子を微細振動させることでカラダの内側から働きかけます。

イメージ図



DENBAのマットには1極しかありません。

エネルギーマットから放出された電気は、プラスとマイナスを結ぶ導線を伝えることなく空間中に放出され、マットを中心とした広範囲の空間に電場が形成されます。

●DENBA独自の特許技術が生む微弱電場について、東京大学・慶応義塾大学・筑波大学などの各大学・研究機関と共同研究をおこなっています。

●世界45ヶ国(日本、アメリカ、中国、韓国、台湾、EU欧州連合、シンガポール、メキシコ、カナダ、オーストラリア、他)で特許を取得、特許庁発行『企業価値向上に資する知的財産活用事例集2022』の20社に選ばれました。

ご購入や治療院へのご導入
に関するご相談はお気軽に！

<https://www.qi-manage.com>



DENBA+

正規代理店 株式会社キューアイ・マネージ 千葉県印西市大森3325 TEL:0476-42-3675
販売元 DENBA JAPAN 株式会社 東京都千代田区神田錦町3-15-6 名鉄不動産竹橋ビル5F

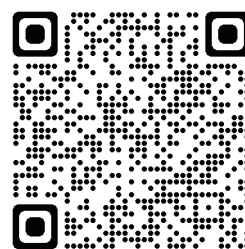
神奈川県鍼灸師会のWebサイトも当社です!

鍼灸院の独自ホームページを作りませんか?



価格は1ページ、5万円(税別)～詳細は別途。
その他、バナー制作・ロゴデザインなど、
お気軽にご相談ください。

株式会社インフォビジョン
<https://infovision.co.jp/contact/>



KANAKEN

ディスポ鍼
光華
KOKA



ディスポ鍼 光華
(1箱 100本入)

KN-160 **900円** (税込990円)

〔クラスII〕 認証番号 220AGBZX00234000

針体材質：ステンレス製
エチレンオキシサイドガス滅菌済

- 1寸～1寸6分…AIリリース方式
- 2寸…タブ付(ストッパー付)

ディスポ鍼 光華【長針】
(1箱 100本入)

KN-160 **1,700円** (税込1,870円)

〔クラスII〕 認証番号 220AGBZX00234000

針体材質：ステンレス製
エチレンオキシサイドガス滅菌済

- タブ付(ストッパー付)

- 鍼を鍼管からスムーズにリリースできます。
- 刺入時の切皮痛を極限にまで減少しました。
- アレルギー予防のコーティング。

AI設計の鍼管は施術時のリリース動作をより効率的にいたしました。

※但し、針長2寸(60mm)～3寸(90mm)のサイズはAIリリース方式ではなく、タブ付の鍼管になります。



長さ 太さ	カラー	長さ				
		1寸 30mm	1寸3分 40mm	1寸6分 50mm	2寸 60mm	3寸【長針】 90mm
0番(0.14mm)	白	○	○			
1番(0.16mm)	緑	○	○	○		
2番(0.18mm)	黄	○	○	○		
3番(0.20mm)	青	○	○	○	○	
4番(0.22mm)	桃		○	○		
5番(0.24mm)	紫		○	○	○	○
8番(0.30mm)	白				○	○

鍼電極低周波治療器

KANAKEN

Lasper-A・MC

エース エムシー
ラスパーA・MC

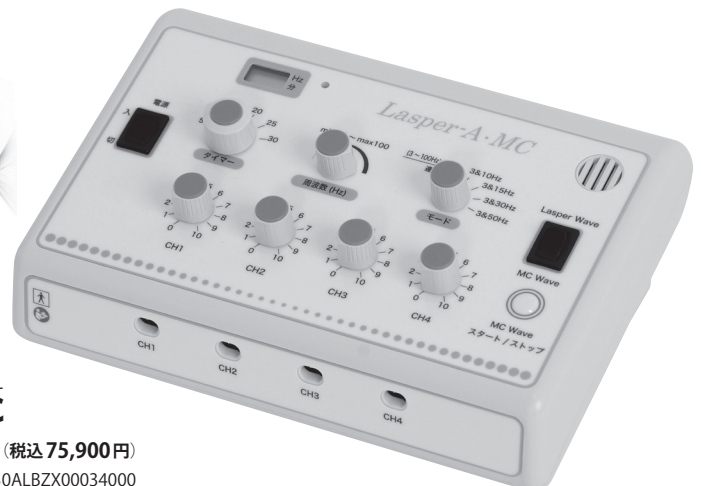
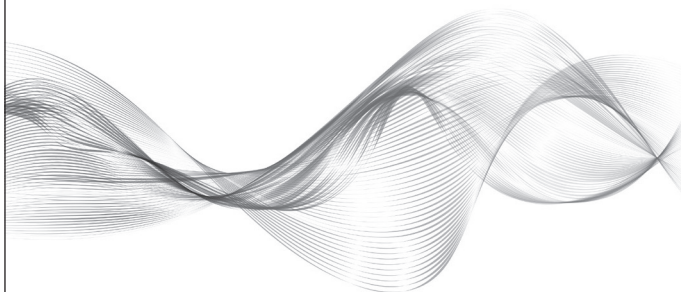
鍼電極低周波治療器

+

マイクロカレント

マイクロカレントは実績のデュアルクロス通電方式

この1台で鍼治療は「新たな時代」を迎える



エース エムシー
ラスパーA・MC

KE-600 **69,000円** (税込75,900円)

〔クラスII/特管〕 認証番号 230ALBZX00034000



総発売元
株式会社 カナケン
本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39
TEL_045-901-5471(代) FAX_045-902-9262

大阪営業所：TEL_06-6935-3016代 FAX_06-6935-3017
新潟営業所：TEL_025-286-0521代 FAX_025-286-8870
福島営業所：TEL_024-961-7211代 FAX_024-961-7221
仙台出張所：TEL_022-287-6273代 FAX_022-287-6218



オンラインショップ
◀公式サイトはこちら
<http://e-kenkou.jp/>